

---

2024年度  
札幌地区少年サッカー連盟  
**総会議案**

---

日時 2024年4月15日(月) 18:00

場所 ホテル ライフォート札幌

2階 ライフォート

1. 会長挨拶
2. 規約改正
3. 2023年度 事業報告
4. 2023年度 決算報告
5. 2023年度 会計監査報告
6. 2024年度 役員選出
7. 2024年度 活動方針案
8. 2024年度 予算案
9. 2024年度 事業計画案
10. 大会参加に必要な手続きについて
11. 総合開会式実施案
12. 連絡事項
13. 各エリア打ち合わせ

札幌地区少年サッカー連盟HP

<http://www.sjfa.org/>

# 札幌地区少年サッカー連盟 総会議案書

## 目次

連盟	活動方針	2
総務委員会	活動方針	7
	マッチ・ウェルフェアオフィサー 記録用紙	18
	エントリー規定	19
	大会追加エントリーと取り消しの方法	24
審判委員会	活動方針	27
	審判活動に関して	32
	警告及び退場の報告	34
技術委員会	活動方針	35
広報委員会	活動方針	38
フットサル委員会	活動方針	40
リーグ戦委員会	活動方針	41
規約		45
会計細則		47
事業計画		49
大会要項		50
年間予定		65

# 札幌地区少年サッカー連盟活動方針（案）

## 1. はじめに

1968年、本連盟は『札幌市サッカースポーツ少年団連絡協議会』として産声をあげ、56年目となりました。この間、本連盟は、①健康な体 ②挑戦する気持ちや失敗や挫折に負けない強い心 ③協調性やマナー、思いやりといった社会性等、人間として重要なことについてサッカーを通し楽しみながら涵養できるように、積極的に環境を整え、子どもたちの健やかな成長に寄与していきたくと願って活動してきました。何年後も、何十年後も、子どもたちがサッカーをしたい時に、身近な場所で、自分がめざすレベルにあった環境で、心からサッカーを楽しめるように、（一社）札幌地区サッカー協会第4種委員会としての役割を、指導者・保護者・多くの応援してくれる人々と協力して果たしていきたくと思います。

昨年度、札幌地区のチーム状況の変化に合わせ、『札幌市サッカースポーツ少年団連盟』から『札幌地区少年サッカー連盟』（英語表記は、Sapporo Junior Football Association、略称はSJFA）と名称を変更しました。同時に、誰でも運営できる持続可能な団体を目標にしました。そのために、区での活動を見直し、2024年度から区をまとめた4つのエリアを基本に活動していけるように準備を進めてきました。大会方式などを少しずつ見直しながら進めていきます。大きな転換となりますが、知恵と情熱を結集させ、よりよいサッカー環境を構築していけるようにご協力をお願いします。

## 2. 活動方針



サッカーの指導するにあたり、絶対に忘れてはならない重要な言葉があります。それは「Players First!」＝「選手を第一に考える」です。選手の育成を考える場合、何かを判断する場合、あるいは困難なチャレンジが生じる場合、そのときに必ず立ち返るべき言葉です。

しかし、子どもたちにとって何が一番良いのか、という基準は必ずしも全員が一致するものではありません。そこで、（公財）日本サッカー協会作成の『合言葉は Players First!!』をもとにして、「Players First!」について共通認識を深めてきました。正しいことをすることも大切ですし、何が正しいのかを議論することも重要です。これからも、様々な場面で「Players First!」について話をして考えていきましょう。



選手のスキルアップを支えるには、私たち大人のスキルアップも欠かせません。指導者としての資質向上を図るため公認指導者資格の取得を推奨します。また、NTC 伝達講習会の実施等を計画していきます。

また、審判技能の向上も必要です。審判講習会や振り返りの場を設けることで審判員の技能向上を図り、より良い試合環境を整えていきます。

加盟全チームで協力し、札幌地区の選手のスキルアップを支えていきましょう。

本連盟は、選手の育成を第一に考え、以下の3つの活動方針を設定します。

- ① サッカーというスポーツを純粋に楽しませる。  
楽しいからやりたくなる！好きだからうまくなる！
- ② 少年期に大切にしなければならないスキルを身につけさせる。  
答えを教えるだけでなく、自ら見つけられるように導いていく。
- ③ 社会の常識的なマナーや判断力を育てる。  
指導者・保護者がグッドスタンダードに



### 3. 活動の重点

- 1 クリエイティブな選手育成
- 2 指導者の育成
- 3 選手登録数の増加に向けた普及活動
- 4 指導者・保護者の意識改革

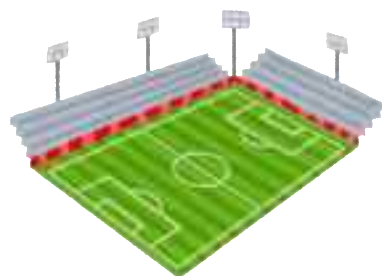
札幌地区が  
北海道のモデルとなる

#### 1 クリエイティブな選手の育成

##### ① すべての子どもがサッカーを楽しめるように…試合環境の整備

札幌の子どもたちにとって、身近にサッカーができる環境を整えることを目指します。そこで、今年度も、全ての登録選手が試合に出ることができる環境を整えていきます。多くの大会において、移籍をすることなく合同チームで出場することが可能になりました。サッカーの試合こそが1番のトレーニングです。各チームにおいても、全ての選手が試合に出ることができるように工夫や配慮していただきたいと願っています。

今年度もSSAPや東雁来公園グラウンドの人工芝グラウンドを使用できるように働きかけを続けていきます。さらに天然芝での活動もできるように取り組んでいきます。芝の上で思い切りサッカーをすることで、技術面・体力面でより高いものを求めていくことができると考えます。天然芝や人工芝のグラウンドを所有しているチーム・団体・自治体などにも協力を依頼し、よりよい環境で試合を行っていただけるように努力していきます。



##### ② スモールサイドゲームの推奨…プレー回数の重要性

JFAより「スモールサイドゲーム」のガイドラインが示されました。U-10年代のゲーム環境を見直すことで、ボールを扱う機会やシュートの回数が改善されていきます。連盟の事業としてもより良いゲーム環境の計画を進めていきますが、各チームでできることもあるはず。各チームがガイドラインに沿って計画を立てた事業に連盟として援助していただけるように進めていきます。「子ども中心」の考え方でより良い環境を構築していきましょう。

##### ③ トレセン活動の充実…「個」の育成

技術委員会が中心となり、トレセン活動を進めてきました。レベルの高い「個」同士を集めて、良い環境、良い指導を与えること、レベルの高い者同士が互いに刺激となる状況をつくるのがトレセンの目的です。札幌地区ではトレセンスタッフの方々が、長期にわたり質の高い指導を行ってきました。このトレセンスタッフの方々には、自分の仕事、自チームの指導もある中、札幌の選手育成のために昼夜を問わず活動をしていただいています。実態に合わせて工夫をしながら、今年度もトレセン活動を進めていきます。

トレセン制度の環境整備に伴い、トレセンスタッフはB級以上のコーチライセンスが必要となりました。諸条件が整わないとトレセン活動ができません。活動の場がなくなると札幌からナショナルトレセンへの道が閉ざされてしまうことにもなります。しかし、B級ライセンスは誰もがすぐに取得できる資格ではありません。時間的、金銭的なハードルも高くなっています。そこで、連盟では指導者養成のために金銭的な補助を決定しました。より質の高い指導者養成のために各チームの支援もよろしく願います。



## 2 指導者の育成 指導者が変われば選手・チームが変わる

選手たちを日々指導するのは指導者であり、質の高い選手の育成は、指導者による日々の指導のレベルが高くなくてはあり得ません。つまりは良い選手を育成しようと思えば、指導者の質の向上が不可欠となります。子どもは時間をかけて、多くの年代を通過して大人へと成長していきます。その意味で、子どもの育成は、それぞれの年代を預かる多くの指導者のリレーになります。それぞれが、各年代で果たすべき育成の役割を果たし、次の年代の指導者へとバトンタッチしていくのです。発育発達の年代別の心身の特徴を知らずに無理なトレーニングを課したり、心無い指導者の一言で子どもたちの心を傷つけたりすることがあっては絶対にいけません。4種年代においては指導技術だけでなく、指導者の人柄も選手に大きな影響を与えます。そのために、より多くのより質の高いリスペクトされる指導者の養成を目指していかなければなりません。

### ① 公認指導者…質の高い指導を目指して

各チームには、D級以上の有資格者が登録されており、(公財)日本サッカー協会の指導指針をふまえた指導がなされていると考えています。

また、全日本選手権大会では、予選から有資格者のベンチ入りが義務化されています。札幌地区の大会においては、今年度より、原則1名以上の有資格者を含む複数の指導者のベンチ入りを義務づけます。安全安心な環境づくりを目指し、各チームで準備する必要があります。連盟でも取得希望を調べ、希望者全員が受講できるように、講習会の開催に向け働きかけていきます。なお、大会によって条件が異なることもありますので、大会要項を確認し、大会に参加をしてください。なお、2025年度からは、2名以上の有資格者のベンチ入りが必須となりますので、今年度中に準備を進めてください。

	全道大会・全日本予選（札幌 PO 含む）	札幌市内大会
2024年度	公認ライセンスが必須で複数。	公認ライセンス1名以上、複数。
2025年度	公認ライセンスが必須で複数。 全日本予選は、C級以上が1名以上。	公認ライセンス2名以上。

### ② 伝達講習会…指導技能の向上と方向性の確認

技術委員会では、毎年、内容の濃い伝達講習会や指導者講習会を行っています。指導の質を高めたいと積極的に参加する指導者も増えてきています。ナショナルトレセンのメニューなどを知るに加え、ディスカッションを通して大切にすべきポイントを確認出来たり、4種年代の目指す方向性を知ることができたりします。

今後も指導者一人一人の指導力をより一層高めていくために、より魅力的な講習会を開催し、指導者のみなさんの積極的な参加をお願いしたいと考えています。



## 3 選手登録数の増加に向けた普及活動

年々、登録選手が減少しています。少子化に加え、サッカー以外の環境の整備が進んだことも少なからず影響をしていることが考えられます。そういう中で、サッカーを選んでもらえるように取り組んでいく必要があります。

### ① キッズ委員会との連携

(公財)北海道サッカー協会や(一社)札幌地区サッカー協会のキッズ委員会では様々な事業を計画し、普及拡大に努めています。サッカーに関わったキッズたちの行き先がなくならないように、これまで以上に連携を深めていくことが大切になってきます。

また、昨年度実施したキッズイベントには、多くのキッズが参加してくれました。今年度も開催し、キッズ年代の活動の充実を目指します。



## ② 情報の発信

普及拡大には、どのような活動をしているのか情報を公開することも大切であると考えます。連盟ホームページに事業内容の詳細を掲載し、私たちの考え方や取組の内容を広く周知していきます。また、加盟チームの連絡先やホームページ等のリンク先を掲載することでチームを身近に感じてもらいます。広報委員会を中心に取り組んでまいりますので、ご協力をお願いします。

## ③ 女子選手の普及拡大

(公財)北海道サッカー協会や(一社)札幌地区サッカー協会の女子委員会とも連携を深め、普及拡大を図ります。女子トレセンも(一社)札幌地区サッカー協会女子委員会が中心となって活動をし、多くの選手が参加しています。熊谷高瀬杯やガールズエイト等へのガールズゲームへの参加も計画していきます。

また、卒業後にサッカーを辞めてしまう選手も多くいることが問題になっています。継続してサッカーができる環境づくりに取り組む必要があります。

全ての女子選手に情報が行き渡るように各チームでの連絡体制の構築をお願いします。



## 4 指導者・保護者の意識改革

選手がいても指導者や審判員がいなかったために出場できないということが起きないように、審判資格や指導者資格、スポーツ少年団の育成員の資格などを積極的に取得していただきたいと思えます。各チームの指導者、保護者、地域が一体となったチーム運営を心掛けてほしいと考えます。信頼される熱心な指導者と協力的な保護者がスクラムを組み、子どもたちの練習環境を整えることでサッカーを楽しむ子どもが増え、普及につながっていくのです。

### ① ウェルフェアオフィサー・・・安心安全な環境づくり

- ★サッカーに関わる全ての人々が安全にサッカーを楽しむことができる環境を作り出す。
- ★サッカー活動においてリスペクト精神が浸透し、オンザピッチ、オフザピッチでフェアなプレーを確保する。
- ★誰もがリスペクトやフェアプレーの考え方を理解する。

などを目的とし、ウェルフェアオフィサーの設置が進められています。

マッチウェルフェアオフィサー(MWO)を準決勝や決勝戦、代表決定戦に配置しています。暴力や暴言の抑止だけではなく、コーチングの向上に一定の効果が見られています。今後は、全ての試合に配置できるようにしていきたいと考えています。

クラブウェルフェアオフィサー(CWO)の設置は少しずつ進んでいます。(一社)札幌地区サッカー協会が中心となり、全種別での設置を目指しています。今年度は、4種全チームへの配置を目指します。クラブウェルフェアオフィサーがいることは、安心安全なクラブであるというステータスでもあります。積極的な取組をお願いします。



### ② 協力体制の構築・・・マナーの向上

会場校のみなさんの献身的な会場準備や駐車場整理には、本当に感謝しております。しかしながら、残念なことに、そうした会場校の多くの苦勞に対し駐車違反や物品破損、会場校担当者への心ない発言などを行い、迷惑をかけてしまった保護者や選手・指導者がいました。今年度もこのような行為に対して、強い態度(チーム代表者のベンチ入り禁止、謝罪、文書での改善についての報告等)で臨んでいきます。指導者や保護者のみなさんにおきましては、絶対に他への迷惑になることがないように、子どもたちのよきお

手本（グッドスタンダード）として行動していただきたいと願っています。



会場を引き受けてくださるチームが少なくなり、毎年のように会場を提供してくださるチームへの負担が問題になってきています。朝から夕方までの一日、場合によっては子どもの試合を見ることもできず、試合後のグラウンド整備まで行っている会場校では、保護者の負担が大きいことが原因でサッカーをしたい子どもが身近なチームに入団できないという事態も生まれています。このようなことが続けば、試合会場の確保ができなくなり、また、サッカーがしたくてもできない子どもたちを増やすことになり、見過ごすわけにはいきません。「試合会場として使わせていただいている」という意識を保護者・選手・指導者がしっかりともち、協力して会場運営を行っていくことが求められています。今年度につきましても、会場のお手伝いや協力についての確認を行い、会場校の負担軽減を進めていきます。会場を使わせていただく全チームに、駐車場等の会場のお手伝いをお願いすることになりますので、ご協力ください。全保護者・指導者が連盟組織の一員である（連盟ファミリー）という意識を強く、強くもっていただきたいと思います。



### ③ 指導者会議と総合開会式

指導者会議では、連盟の運営事項を審議したり、大会の抽選をしたり、各委員会からの重要な連絡をしたりしていました。しかし、この3年間、全チームが集まる会議を開催できていません。そのような状況の中、電子メールなどを活用した連絡方法も進んできました。今後は、負担ができるだけ少なくなるように必要に応じて会議の開催を検討していくこととします。なお、大会の抽選につきましても今後も連盟事務局及び大会実行委員会にて実施することとします。



今年度の総合開会式は、厚別公園競技場の改修工事のため会場や内容を変更して実施します。本来は、大会ごとに開会式を実施するところですが、会場確保や運営面での判断から、総合開会式を1年間のすべての大会の開会式と位置づけ、全チームの参加を義務付けて実施しています。連盟所属の全てのサッカー少年少女たちにとっては、年に1度の交流の場です。1年間のスタートとしてみんなで集まり、気持ちを高め合いましょう。

## 4. 『夢』をかなえるために

札幌地区少年サッカー連盟は、先輩や保護者の方々、大会スポンサー等の努力と協力ですばらしい発展を遂げてきました。札幌出身の男女選手が北海道コンサドーレ札幌を中心にプロサッカー選手となり、活躍しています。

Jリーグ・WEリーグ、そして海外のプロリーグで活躍するというサッカー少年少女達の夢が、日本代表さらには、世界へと、どんどん広がっていくことを、私たち少年少女のサッカーに携わる者はしっかりと受け止め、それに応えるべく最善の準備をしていくことが必要となるのです。

札幌でサッカーを楽しむ子どもたちのために、札幌の全チームの指導者・保護者が一体となって短・中・長期的な取り組みを推進していきましょう。今後のワールドカップやオリンピックの舞台で札幌出身の選手が活躍していることを期待し、今年一年ご協力を宜しくお願いします。



---

# 2024年度 ウェルフェア委員会活動方針

---

## 1. 委員会の目的

○子どもたちがサッカー、スポーツを安心・安全に楽しむ権利とその環境を守るためのとりくみをすすめる。

＝そのために＝

○選手・指導者・保護者へのモラル及びマナーの徹底、向上を図る。

○問題があった場合、その対応について協議をする。

○円滑な大会運営・諸手続がなされるよう啓発していく。

## 2. 活動内容

### (1) モラル及びマナーの徹底、向上に向けての啓発活動

#### 1) <セーフガーディングの推進>

##### ① マッチウェルフェアオフィサーの配置

- ・練習試合や各種大会等でも、指導者同士お互いのコーチングや立ち振る舞いについて交流し、高めていけるような意識の向上をめざす。
- ・各大会要項に沿って配置をすすめる。
- ・有資格者以外の協力も得ながら、リーグ戦や各種大会の1回戦にも可能な限り配置をめざす。
- ・全道大会へつながる大会の準決勝・決勝、フットサル委員会より依頼のあった試合には、マッチウェルフェアオフィサーを配置し、指導者や保護者にフェアプレーに関する気付きをもってもらえるように努める。

※交通費 1000円 謝金 1試合 1000円 必要に応じて昼食代 500円を支払う。

- ・リーグ戦や各種大会の1・2回戦では、有資格者はすすんでマッチウェルフェアオフィサーとして関わることとします。(記録用紙記入なし 謝金なし 指導者とコミュニケーションをとる)

##### ② マッチウェルフェアオフィサーの増員

- ・講習会を行い、有資格者が、各チームに1人以上いるようにする。

##### ③ マッチウェルフェアオフィサーの配置手順

- ・各エリアのウェルフェア委員は、大会ごとに委員長の指示に基づき協力される方の氏名を委員長まで報告する。
- ・基本的に各エリアから協力してもらう。

##### ④ クラブウェルフェアオフィサーの配置

- ・チーム内からフェアプレー、リスペクトを広めたり、確認したりするようにする。(監督以外の方になっていただくことを勧めます。)

##### ④ クラブウェルフェアオフィサーの増員

- ・全チームに配置するために年度当初に研修会(交流会)を実施する。

1)各チームからの参加者報告      2)研修会(交流会)の実施      3)活動報告

- ④ マッチウェルフェアオフィサーを配置する試合を増やすために、実際にアドバイスを受けながらマッチウェルフェアオフィサーを経験する場を用意する。(有資格者にむけて)



## 2) <指導者として留意すべき点>

私たち指導者は、子どもを一人の人間として尊重し、サッカーというスポーツを通して社会性を育み、豊かな人間形成を目指して指導していかねばなりません。また子どもたちが安心してサッカーができる環境を作ることも必要です。そのために、以下のことに留意して日常の指導にあたります。

- ① スポーツマンシップやフェアプレーを理解し、そして、マナーの徹底を図る。
- ② 児童期の子どもの心理や個性をよく理解し、子どものやる気を引き出す。そして、自主性や判断し行動する力を育む。
- ③ 児童期の子どもの身体的発達をよく理解し、スポーツ障害の予防に努める。
- ④ 良き指導者としてのモラルの確立をすすめる。
  - ・ プレイヤーファースト（選手第一主義）を第一に考えた指導。
  - ・ 団員に対する暴言や暴行などの体罰の禁止。
  - ・ 試合中のベンチ・テクニカルエリア以外でのコーチングの禁止。
  - ・ リスペクト（尊敬し敬意を表す）し子どもの伸びや可能性を信じた指導助言。
  - ・ 大会会場での指導する際には、指導者としての相応しい言動、行動、服装、不快感を与えないよう心掛ける。
- ⑤ 選手・保護者との良好な信頼関係を築き、選手を監督し保護者会と連携する。
- ⑥ 指導者講習会などへの積極的な参加によって、指導力の向上に努める。

## 3) <団員や指導者、そして、保護者のマナーの徹底>

チーム指導者の監督の下、マナーをしっかりと守り活動が行われることが重要です。しかし、一部の心無い人々の行為により、連盟の組織全体にまで影響を及ぼすことがあります。また、学校や競技場などの公共施設を使用できなくなることもあります。そこで、下記のマナーの徹底を図っていただきたい。

- ① 会場及び周囲の住民に対して迷惑行為（隣接商業施設への駐車や施設に対するいたずら）をしない。特に、駐車に関しては指導者会議等で伝えられた会場毎の各チームに対する駐車台数の制限を厳守するようお願いいたします。
- ② グラウンドやそれに付随する施設を使わせていただいているという意識をしっかりとつ。くれぐれも迷惑をかけない。
- ③ 会場を担当していただいているチームへの感謝の気持ち、会場担当者の指示に従う。
  - \* 指導者・保護者・団員は会場到着時、会場使用の注意事項を必ず確認し帰る時には待機場所、使用箇所を確認し忘れ物ゴミの投げ捨てをしない様にする。ゴミ袋を持参し自チームで持ち帰る。
  - \* 大会運営への積極的な協力、会場準備、後片付けへの協力。
  - \* 会場周辺駐車場前での乗降の禁止及び開場時間前の上場禁止。
- ④ 公的な交通機関を利用する時のマナーをしっかりと守る。
- ⑤ 校地内での喫煙の禁止、校地外の喫煙もしっかりと後始末をする。
- ⑥ 相手チームや審判をリスペクトする。（相手チームの選手や自身の子どもの言動に注意する。子どもたちは、大人が行っていることを真似します。大人がまずリスペクト精神のお手本を見せてください。）
- ⑦ 指導と応援のサイドを明確にする。（原則、応援サイドは、ベンチとは反対側のサイドとする。）

- ⑧チームで荷物等の管理、靴袋の持参を徹底し責任をもって行う。
- ⑨各大会会場において、迷惑行為があった会場責任者は、別紙報告様式にて理事長・事務局長・ウェルフェア委員長にその日のうちに連絡する。ウェルフェア委員長は、当該チームに内容を確認します。その後、理事長・事務局長・ウェルフェア委員長で協議・確認をする。その結果、指導者会議でウェルフェア委員会から報告、又は当該チームが謝罪をする。
- ⑩連盟事務局の承認のあった場合以外でサッカー協会へ問い合わせることで協会の業務が滞るため、(一社)札幌地区サッカー協会、(公財)北海道サッカー協会への問い合わせの禁止します。分からないことがあった場合は、①チーム指導者 ②各エリアの代表理事 ③連盟事務局に問い合わせる。

#### 4) <会場を引き受けた場合の申し合わせ事項>

大会の会場を引き受けるなど、日々運営にご協力いただきありがとうございます。今一度改めまして会場を引き受けていただくにあたって、全チームに行っていただきたいことがありますので、申し合わせ事項をご確認ください。なお、練習試合やプライベートな大会の際にも同様に行っていただきたいと思っております。

##### ①指導者打ち合わせ（チーム代表者打ち合わせ）の徹底

- ・使用可能な場所・使用不可能な場所などの確認
- ・保護者の応援サイドの徹底
- ・駐車場所・台数の確認
- ・テクニカルエリアの確認

##### ②グラウンド・会場内の安全確認

- ・グラウンド状態や天候の確認  
 ※降雨によりグラウンド状態がよくない場合や落雷の恐れがある場合などは、無理に試合を行わない。（ただし、大会の場合は、会場独自で判断せず事務局・各エリアの代表理事の判断を仰ぐ。）
- ・会場内の遊具の使用禁止や立ち入り禁止場所の表示
- ・選手・保護者の待機場所の確保

##### ③救急体制の確立

- ・救急指定病院の確認、救急箱の用意、AEDの設置場所や使用可能かを確認する。

##### ④会場責任者

- ・大会エントリー表・選手証の照合
- ・開場時間・会場での打合せ時間・審判割り当ての確認
- ・試合後、迷惑行為があった場合は理事長・事務局長・ウェルフェア委員長あてに連絡をする。いつ、どこで何が発生したか簡潔にまとめ、発信者の連絡先も記入して送る。

#### 5) <諸義務やルールの遂行>

以下のことを遵守して遂行すること。守られなかった場合は、札幌地区サッカー協会リスペクト・フェアプレー委員会ならびに当委員会で検討し、何等かの懲罰を課することもある。

##### ①諸手続き及び諸費納入の完了

- ・(公財)日本サッカー協会登録

- ・札幌地区サッカー少年団連盟登録
- ・スポーツ傷害保険加入
- ・スポーツ少年団登録（団登録任意。認定員は、札幌体協本部加入可。）

## ②提出物について

- ・札幌市サッカースポーツ少年団連盟加盟申請書
  - ※指導者の自宅と勤務先の連絡先を明記する。
  - ※登録指導者名は、資格を必ず確認し有資格者を記載すること。（D級・4級以上）
  - ※登録指導者名は、当該少年団活動を行っている指導者とする。（誤記によって出場に関わる問題が生じた場合は、懲罰を課す。）
  - ※各学年の登録団員数を明記する。（登録団員数の誤記によって出場に関わる問題が生じた場合は、懲罰を課す。）
- ・プライバシーポリシー同意書

## ③総会と総合開会式への参加

- ・総会・総合開会式参加を義務付けるとともに、次の事項に留意する。

＝留意点＝

- 開場時間の厳守。
- 競技場周辺での自家用車の乗り入れ乗降の禁止・周辺地域での駐停車禁止。
- 公共交通機関・タクシー・貸切バスの使用をお願いします。

## ④登録する区について

- ※新規登録するチームは、理事会の承認を得て、主たる活動場所（使用するグラウンド）がある区に登録する。登録にあたっては、事務局と区で情報を共有する。

## ⑤出場資格の徹底

- ※出場資格については、別ページの「各大会の参加条件一覧」を参考にすること。

## ⑥メンバー表の提出

- ※各大会に出場にする場合は、大会エントリー表に書かれた選手名等をメンバー表に記載し、試合ごとに提出する。

## ⑦大会エントリー表の提出

- ※大会エントリー表は、定められた方法で期日厳守で提出する。

## ⑧ユニフォームについて

- ・新年度の活動スタートに当たって、ユニフォーム4種類（フィールド正副2種類、GK正副2種類の計4種類）がチームとして用意されていることを確認する。

※4種類を並べた時に同色があった場合、「色の重複」になります。  
「FP正 GK副だから重複していない」ではなく4種類を並べての判断基準です。

- ・審判と類似の色の上衣を用いることはできない。
- ・大会参加時、試合開始30分前のユニフォームチェック時に正副のユニフォームに不備があった場合、主審は試合を成立させる方向で調整する。
- ・ユニフォームに不備のあるチームの指導者は、試合後に早急に対応する。チーム指導者はウェルフェア委員長に必ず報告を入れる。
- ・ユニフォームに不備のあった件について、ウェルフェア委員長が指導者会議にて報告する。  
※最新のユニフォーム規定に留意し、ユニフォームにスポンサー名を入れる場合は、（一社）札幌地区サッカー協会への登録の必要がありますので、事務局まで確認すること。

### ⑨大会参加時の審判の義務

- ・電子審判証（プリントアウトしたものも可）を携行するとともに、審判服を着用して審判活動を行う。審判割り当て表を必ず確認する。
- ・試合前と試合後の打ち合わせを必ず行い、審判技術の向上を図る。
- ・審判員はユニフォームチェック時にメンバー表の確認を行い相違のないことを確認する。

### ⑩指導者会議に時間厳守で出席

- ・少年団連盟の活動、各種大会の開催要項、大会運営など重要な事項が話し合われるため、出来る限りチームを代表する指導者が時間厳守で出席すること。  
（少年団連盟規約第9条1項による。ただし指導者が出席出来ない場合は代理が出席することも認められるが、チームの全権をもって出席すること）。

※開始時間に遅れた場合は、事情聴取するとともに事務局・ウェルフェア委員会の規律委員で協議し何らかの懲罰を課す。【ただし、突発的な事柄（公共交通機関の遅延等）で遅れる場合は考慮する。】

### ⑪大会運営及び大会参加・選手の出場について

新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しつつ大会運営を進めていく。詳細は、「札幌市サッカースポーツ少年団連盟 新型コロナウイルス対策」を参照の上対応するものとする。

## ◎大会運営について

○全市大会の日程については、予定を変更することなく行う。

※延期した場合、運営変更が直前で難しく、（100チーム以上参加するので）不公平が生じる可能性があるため。

※学校行事等による日程変更が可能な場合は、エントリー締め切り日までの申告は認められるが、それ以降の変更は認められない。

○各区の大会、全市大会予選においては、各区代表理事のもと検討して大会運営を行う。

### ◎大会参加、選手の出場について

### （一社）札幌地区サッカー協会の確認

- ①参加選手に発熱など、インフルエンザ症状が見られる場合は、その選手の参加を見合わせる。
- ②参加選手の所属する学校が臨時休校、あるいは所属学年が学年閉鎖、所属学級が学級閉鎖になった場合は、その選手の参加を見合わせる。また、大会出場に影響のある休校処置等があった場合は、直ちに区代表理事、大会運営区の代表理事に連絡すること。区の代表理事は、ウェルフェア委員長、事務局長、理事長に連絡をする。
- ③チーム内に、複数のインフルエンザ感染者が出た場合は、感染状況等を把握した上で判断する。基本的に、複数の感染者が出た場合は、活動を中止し、大会参加を自粛する方向で考える。濃厚接触にはさまざまなケースが考えられるが、結果として、サッカー活動がインフルエンザの感染源・感染経路となることを回避できるよう、慎重に検討する。

## ⑫指導者・審判員の保険加入について

※指導者・審判員などで、各チームでの活動中や本連盟の活動に対して協力いただいている最中に事故やけがなど起きた時のことを考え、指導や審判を行う可能性のある大人については、各自の責任のもと生命保険・傷害保険等に必ず加入していただく。（選手が加入しているスポーツ障害保険に、指導者も加入することができます。）

## 6)《選手のチーム移籍について》

選手のチーム移籍については、以下のことについて共通理解を図る。

- ①3月の公益財団法人日本サッカー協会登録時の選手のチーム移籍は、従来通り自由である。
- ②シーズン途中の移籍は、公益財団法人日本サッカー協会のHPからの手続きとなります。  
\*移籍・追加登録等の手続きについては、協会登録手続きを熟読し手続きを実施願います。  
\*札幌U10、会長杯、道民共済カップ、札幌室内サッカー、U-12サッカーリーグ、札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会、U-12秋季大会において合同チームを結成する場合は、選手の移籍扱いにはならないので、手続きの必要はない。
- ③所属チームは、選手から移籍希望があった場合、速やかに手続きを取らなければならない。
- ④追加エントリー締切日までに手続きが終了していれば、その選手は公式戦に出場が認められる。公式戦以外はこの制約はない。  
(手続中・参加出来るか不確実な場合認められない、必ず手続き終了後)

## 7)《審判委員会とウェルフェア委員会の連携》

- ①審判委員会が、大会時における警告及び退場の対象となった選手の集約をする。
- ②特に全道大会につながる大会においては、厳密に集約し大会時はもちろんのこと全道大会においても大会規定により引き継いでいく。
- ③警告や退場となる選手が多いチームについては、両委員会から指導者に対して、フェアプレーの徹底を図るように指導する。

## 8)《問題があった場合の対応について》

- ①ウェルフェア委員長から、当該チーム責任者に経緯と事後の対策を聴取する。当該チームから理事長・事務局長、ウェルフェア委員長宛に文書を提出してもらい、協議する。ウェルフェア委員長は、各エリアのウェルフェア委員と該当チームにその結果(訓告、譴責など)を連絡するとともに指導者会議で報告する。
- ②エントリー表・選手証を忘れた場合、不正・違反ではないので試合は実施する。
- ③エントリー表・選手証・選手登録番号の誤記の場合、違反・不正ではないので該当選手は出場可能。
- ④競技規則違反のないように各種大会の抽選会前に各エリアのウェルフェア委員から各チームに開催要項の確認を促すとともに、担当区には抽選会の時にも開催要項を明記していただく。
- ⑤競技規則違反があった場合は、大会期間中の指導者のベンチ入りを禁止する。  
ただし審判活動については可能とする。後日、理事長・事務局長・ウェルフェア委員長あて文書の提出を義務付ける。



### 3. 特定される個人情報について

札幌市サッカースポーツ少年団連盟は、各チームに対しプライバシーポリシー同意書を提出していただいています。チーム内でもプライバシーポリシー同意書を集めるなど対応してください。

しかし、今後ともフェイスブック・SNS等に他チームの選手個人が特定される様な映像・画像の掲載が無いようにご注意ください。このような行為は、場合によっては個人情報流出・プライバシーの侵害等になります。ライブ配信が認められている試合では、相手チームへの確認を必ずしてください。

### 4. その他（資料）

#### ～JFAサッカー行動規範～

公益財団法人日本サッカー協会はここに「JFAサッカー行動規範」を定める。この規範はサッカー協会に所属している競技者、指導者、審判員、役員などが守るべきものであるが、メディア関係者、ファン、サポーターなど、サッカーを愛しているすべての人がこれを理解し、尊重していただくことも強く願っている。

私たちは、サッカーを通じて人として成長し、友情を広げることを望んでいる。本規範にのっとった行動を通じて、愛するサッカーの価値を高め、そのサッカーに関わる自分自身の人生を豊かなものとし、他のスポーツに取り組む仲間たちと力を合わせて、平和で健全な社会を築いていきたい。そして、そのようにサッカーに取り組むことを、私たちは心から誇りに思う。

- 〔最善の努力〕 どんな状況でも、勝利のため、またひとつのゴールのために、最後まで全力を尽くしてプレーする。
- 〔フェアプレー〕 フェアプレーの精神を理解し、あらゆる面でフェアな行動を心がける。
- 〔ルールの遵守〕 ルールを守り、ルールの精神に従って行動する。
- 〔相手の尊重〕 対戦チームのプレーヤーやレフェリーなどにも、友情と尊敬をもって接する。
- 〔勝敗の受容〕 勝利のときに慎みを忘れず、また敗戦も、誇りある態度で受け入れる。
- 〔仲間の拡大〕 サッカーの仲間を増やすことに努める。
- 〔環境の改善〕 サッカーの環境をより良いものとするために努力する。
- 〔責任ある行動〕 社会の一員として、責任ある態度と行動をとる。
- 〔健全な経済感覚〕 あらゆる面で健全な経済感覚のもとに行動する。
- 〔社会悪との戦い〕 薬物の乱用・差別などスポーツの健全な発展を脅かす社会悪に対し、断固として戦う。
- 〔感謝と喜び〕 常に感謝と喜びの気持ちをもってサッカーに関わる。

## 「キッズ指導ガイドライン」公益財団法人日本サッカー協会

ドロシー・ロー・ノルト博士は、私たちに何を伝えようとしているのでしょうか。

私は、指導者はもちろんのこと、保護者が、愛情をもって子どもにかかわることがどれほど大切かということをお伝えしているのだと考えます。愛情をもってかかわるということは、子どもを一人の人間として、「心と体を大切にし、よりよく生きていこうとする力」をはぐくむことなのです。また、愛情をもって子どもにかかわるということは、「優しさ」だけではなく、時には「厳しさ」も必要です。つまり、「良いものは良い、悪いものは悪い」ということをはっきりとした根拠をもって教え育てることが大切なのです。そして、子ども自身が目標を設定し、その目標を少しずつ達成できるように、指導者と保護者が連携し、支援をしていかなければならないと思います。

この積み重ねが、よりよく生きようとする力をはぐくむもともになると考えます。

批判ばかりされた 子どもは 非難することを おぼえる  
殴られて大きくなった 子どもは 力にたよることを おぼえる  
笑いものにされた 子どもは ものを言わずにいることを おぼえる  
皮肉にさらされた 子どもは 鈍い良心の もちぬしとなる  
しかし、激励をうけた 子どもは 自信を おぼえる  
寛容にであった 子どもは 忍耐を おぼえる  
賞賛をうけた 子どもは 評価することを おぼえる  
フェアプレーを経験した 子どもは 公正を おぼえる  
友情を知る 子どもは 親切を おぼえる  
安心を経験した 子どもは 信頼を おぼえる  
可愛がられ 抱きしめられた 子どもは  
世界中の愛情を 感じとることを おぼえる

アメリカの家庭教育学者、ドロシー・ロー・ノルト「子は親の鏡」(Children Learn What They Live)より

日本サッカー協会のホームページには、リスペクトやフェアプレーに関する情報があります。一度、確認してみてください。

# 関わる私たち全員で守る！

# サッカーでの安心・安全・そして笑顔

## 知っていますか？「JFAセーフガーディングポリシー」

### 基本原則

#### 子どもたちの安心・安全を守る

1. 子どもたちの喜びを広げ、成長を促す環境をつくる
2. 子どもたちに選択権を与える
3. 子どもたちの声を聞き、対話する
4. 子どもたちの安心・安全を守る
5. 健康や環境リスクに対処する



### 私たちは許さない

6. あらゆる暴力・暴言を排除する
7. あらゆる差別を排除する
8. あらゆるハラスメントを排除する
9. あらゆる誹謗中傷を排除する
10. 子ども同士の問題にもアプローチする
11. サッカー外の問題にも気づく
12. 負の連鎖を断ち切る



### そのためにも

13. 適切な人が子どもたちに関わるよう取り組む
14. 子どもたちを守るためにも、誠実に子どもたちに向き合う大人の安心・安全も守る
15. 起こったことへの対応とともに、予防・教育を重視する
16. 現場をオープンに、リスクの芽に気づき、声を掛け合う、伝え合う文化をつくる



### そしてこれは

17. ファミリー全員の役割・責務であり、全員が当事者意識を持つ必要がある
18. 定期的に現状や手順を評価し、状況の変化に応じてアップデートする必要がある



# 迷惑行為報告書

記入日 年 月 日

報告者氏名		チーム名	
電話番号		メールアドレス	

件名	
要旨 全体を通して、 伝えたいことの 概要、要望、問題 点など	
詳細 時間の経過に沿 って具体的に報 告してください。  いつ どこで だれが なにを どのように どうした	
補足 画像など添付資 料があれば	

提出先 ウェルフェア委員長 (welfare20240401@gmail.com)

# 大会出場許可願

○チームによる不備があった場合、試合開始までに記入して本部に提出すること。  
 ただし、試合直前に判明した場合は、その旨本部に伝えて当日中に提出すること。

記入日 年 月 日

大会名	
大会日	※許可してほしい日を全て記入すること
チーム名	
記入責任者	役職（ ）氏名（ ）
記入責任者 連絡先 (電話番号)	

不備の詳細 どのようなことが 起きたか具体的に 記入する	
不備の原因 なぜ起きてしまっ たのか具体的に記 入する	
不備の解決策 だれがいつまでに 何をするか、解決策 を具体的に記入す る	

会場責任者>大会責任者>ウェルフェア委員長へ提出



## マッチ・ウェルフェアオフィサー報告書

競技会名： \_\_\_\_\_  
 会 場： \_\_\_\_\_  
 キックオフ： \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 \_\_\_\_\_時 \_\_\_\_\_分  
 チーム： A \_\_\_\_\_ VS B \_\_\_\_\_  
 結 果： \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ ) ( \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ ) 延長 ( \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ ) ( \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ ) PK ( \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ )

### 気付いた出来事

チーム名	A	B
選 手		
ベンチ (指導者)		
応援席 (保護者)		
審判団		
チームへの コメント		
総 評		

備 考

署 名： \_\_\_\_\_

# 大会エントリー規定

大会参加にあたり以下の大会エントリー規定を設ける。

- 「参加に必要な選手数」は（公財）日本サッカー協会に選手登録をした選手数である。
- Web 申請をし、登録料の納入が完了したのち、承認が完了していること。  
※登録料を納入したにもかかわらず、承認されない場合は、本連盟事務局まで申し出ること。
- 加盟申請書提出時に、参加する大会の「参加に必要な選手数」に達していると、大会にエントリーできる。
- 加盟申請書提出後に「参加に必要な選手数」に達した場合は追加エントリーをすることができる。追加エントリーは5月1日以降に受付を開始する。
- 加盟申請書提出時に、「参加に必要な選手数」に達していたが、大会エントリーをしていなかったチームは、5月1日以降に追加エントリーをすることができる。
- 追加エントリーおよび、エントリー取り消しの受付は、各大会のエントリー期日までとする。追加エントリーについては、申込用紙の送信と参加費の納入をもって完了とし、エントリーの取り消しは、取り消し用紙の送信をもって完了とする。
- 大会エントリー表の必要な大会は、期日までにメールで本連盟にエントリー表を提出することとする。

大会名	エントリー表の提出	1チーム分の大会参加費（税込み）	参加に必要な選手数	複数	合同
U-12サッカーリーグ	○	14,000円	U-12の選手8名以上	○	○
山崎七郎杯8人制（U-10）	○	8,000円	U-10の選手8名以上	○	○
全道サッカー少年団大会 札幌地区予選	○	8,000円	U-12の選手8名以上	○	○
札幌市スポーツ少年団 サッカー交流大会4年の部	×	3,000円	U-10の選手8名以上 （札幌市のスポーツ少年団に登録しているチーム・選手）	○	○
札幌市スポーツ少年団 サッカー交流大会5年の部	×	3,000円	U-11の選手8名以上 （札幌市のスポーツ少年団に登録しているチーム・選手）	○	○
札幌市スポーツ少年団 サッカー交流大会6年の部	×	3,000円	U-12の選手8名以上 （札幌市のスポーツ少年団に登録しているチーム・選手）	○	○
道民共済カップ(U-9)交流大会	×	0円	U-9の選手5名以上	○	○
トラック協会杯全道大会 札幌地区予選（U-11）	○	6,000円	U-11の選手8名以上	○	○
全日本U-12サッカー選手権大会 札幌地区プレーオフ	○	8,000円	U-12の選手8名以上	○	検討中
川口谷正杯 U-12秋季サッカー大会	○		U-12の選手8名以上	○	
札幌市サッカー少年団 （U-10）大会	×	5,000円	U-10の選手8名以上	△	○
JA全農杯全国小学生選抜 サッカーIN北海道 札幌地区予選（U-11）	○	6,000円	U-11の選手16名以上	○	○
U-11 サッカー交流大会	×	6,000円	U-11の選手8名以上	○	○
会長杯兼サバンナカップ	×	0円	U-12の選手8名以上	○	○

# 大会エントリー表の提出と出場選手確認について

## 大会エントリー表が必要な大会

- U-12 サッカーリーグ
- 全道大会につながる大会  
山崎七郎杯、全道サッカー少年団大会、トラック協会杯、全日本U 1 2 サッカー選手権、J A全農杯、全道フットサル 全日本フットサル
  - ・期日までにメールで本連盟に、**大会エントリー表**を送付。
  - ・毎試合日ごとに、**大会エントリー表**と**選手証**によって出場選手の確認を行う。

## 大会エントリー表の提出

- 期日までに、**大会エントリー表**を本連盟に送付。様式データは、連盟HPよりダウンロードをして作成。
- 記載上の不備、登録上の不正などについては、チームの責任となり大会への出場や選手の出場について処罰を受けることもある。不備が見つかった場合には速やかに訂正し、届け出ること。

## 選手の確認方法

- 試合開始4 5分前に、大会会場の本部へ各自で印刷をした**大会エントリー表**と**選手証**を提出し、本人であることを確認する。下記各種届を提出した場合は、合わせて持参すること。電子選手証も認められるが、迅速な確認作業のために印字したものを持参すること。
- 試合用の登録選手名簿（メンバー表）については試合開始3 0分前までに大会エントリー表と共に提出し、資格のない選手が出場していないか大会本部にてチェックを受ける。

## 選手の追加、変更等の届け出について

○原則、エントリー後の変更は認めない。以下の場合のみ、追加、変更を認める。

- 1) 移籍を含めたエントリー後の加入選手の追加。選手登録が完了していること。・・・選手追加届
- 2) 病気、怪我による選手の入れ替え。診断書を添付すること。・・・選手変更届
- 3) エントリー表の不備の訂正。エントリー表訂正届。

○各種届け出については、大会開始1週間前の金曜日17:00までに事務局長：佐々木謙太郎（北園小 721-5245）へ連絡を行い、変更の手続きの方法・日程について確認する。

○各種届け出には原則、次の2つの方法のいずれかで実施する。

①事務局長：佐々木の職場【札幌市立北園小学校】へ16:45以降、届出用紙を直接持参する。

②切手を貼った返信用封筒を同封の上で、

【〒065-0025 東区北25条東4丁目3-1 札幌市立北園小学校 佐々木謙太郎】へ郵送する。

(事前の連絡なしでの郵送や持参についてはおやめください。)

## 留意点

○大会会場へ**大会エントリー表、各届け出及び選手証**を忘れた場合は、試合を行わせるが結果に関わらず、当日中に会場本部へ持参し、必ず確認を行う。

○不正が発覚した場合は、大会のリスpektフェアプレー委員会で措置を決定する。

○複数エントリーチームについては、参加チームごとに**大会エントリー表**を提出する。

○不正防止のために、エントリー表はペン書きもしくは印刷、コピーしたものとする。

○鉛筆書きのもの、消せるボールペンで書いたもの、修正液や訂正印などで修正してあるものについては、大会エントリー表として認めない。

○背番号の二重登録など不正がないか確認作業を行うために、背番号の小さい方から順に記載することとし、守られていないものについては、無効とする。

○全道大会へつながらない大会については、大会エントリー表は用いない。試合ごとにメンバー表を提出することとし、選手証との照合確認は行わない。(道民共済カップはメンバー表も必要なしとする。)

## 複数チームエントリー規定

札幌地区少年サッカー連盟では、以下の通り複数チームエントリー規定を設ける。

- 必要な選手数を上回った場合、下記の大会において、同一加盟チームから2チーム以上のエントリーを認める。
- 大会エントリー表は、エントリーするチームごとに作成し、抽選会1週間前に提出する。提出から大会終了まで選手の入替はすることができない。
- 全道大会以降については、その大会の規定に従うものとする。
- 複数エントリーする場合は、それぞれのチームに（公財）日本サッカー協会公認指導者資格を有する指導者と帯同審判員の登録を必要とする。（道民共済カップは、指導者資格の有無は問わない。帯同審判員は義務付ける。）
- 登録された審判員は、異なるチームに割り当てられた審判業務を行うことができる。

### 2チーム以上のエントリー可能な大会と条件

大会名	条件・必要な選手数（3チーム、4チーム）
U-12サッカーリーグ	6年生が9名以上（17名、25名）
山崎七郎杯8人制（U-10）	4年生が9名以上（17名、25名）
全道サッカー少年団大会札幌地区予選	6年生が9名以上（17名、25名）
札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会4年の部	4年生が9名以上（17名、25名）
札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会5年の部	5年生が9名以上（17名、25名）
札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会6年の部	6年生が9名以上（17名、25名）
道民共済カップ（U-9）交流大会	3年生が8名以上（15名、22名）
トラック協会杯全道大会札幌地区予選（U-11）	5年生が9名以上（17名、25名）
全日本少年サッカー大会北海道大会 札幌地区プレーオフ	U-12サッカーリーグと同一チーム数
川口谷正杯U-12秋季少年サッカー大会	U-12サッカーリーグと同一チーム数
JA全農杯全国小学生選抜サッカーIN北海道札幌地区予選（U-11）	5年生が17名以上（33名、49名）
U-11 サッカー交流大会	5年生が9名以上（17名、25名）
会長杯兼サバンナカップ（8人制）	6年生が9名以上（17名、25名）



## 合同チームエントリー規定

札幌地区少年サッカー連盟では、以下の通り合同チームエントリー規定を設ける。

- 規定の選手数を下回った場合、下記の大会において、複数加盟チームによる合同チームでのエントリーを認める。
- エリア予選を行う大会については、同一エリア内のチーム同士で合同エントリーすることができる。
- 加盟申請書による年度当初に合同チームエントリーは受け付けない。5月1日以降、追加エントリーとして登録をすることとする。追加エントリー規定に則ること。取り消しの手続きについても同様とする。
- 合同チームによるエントリーの場合、代表1チームが大会参加費を指定された口座に振り込むこと。
- 3チーム以上の合同によらなければ、大会参加に必要な選手数に満たない場合は、3チーム以上の合同も認める。
- U-12サッカーリーグは、合同チームでの出場が可能。全日本少年サッカー大会札幌地区プレーオフについても、合同で出場をすることができる。また、川口谷正杯U-12秋季少年サッカー大会も、合同チームで出場することができる。

### 合同チームによるエントリー可能な大会と条件

大会名	条件	エリア内	エリア外
U-12サッカーリーグ	6年生の選手が7名以下のチーム同士	○	○
山崎七郎杯8人制(U-10)	4年生の選手が7名以下のチーム同士	○	○
全道サッカー少年団大会札幌地区予選	6年生の選手が7名以下のチーム同士	○	○
札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会4年の部	4年生の選手が7名以下のチーム同士	○	○
札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会5年の部	5年生の選手が7名以下のチーム同士	○	○
札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会6年の部	6年生の選手が7名以下のチーム同士	○	○
道民共済カップ(U-9)交流大会	3年生の選手が4名以下のチーム同士	○	○
トラック協会杯全道大会札幌地区予選(U-11)	5年生の選手が7名以下のチーム同士	○	○
全日本少年サッカー大会北海道大会 札幌地区プレーオフ	U-12サッカーリーグと同一チーム	○	○
川口谷正杯U-12秋季少年サッカー大会	U-12サッカーリーグと同一チーム	○	○
札幌市サッカー少年団(U-10)大会	4年生の選手が7名以下のチーム同士	○	×
JA全農杯全国小学生選抜サッカーIN北海道札幌地区予選(U-11)	5年生の選手が15名以下のチーム同士	○	○
U-11 サッカー交流大会	5年生の選手が7名以下のチーム同士	○	○
会長杯兼サバンナカップ(8人制)	6年生の選手が7名以下のチーム同士	○	○

# 大会追加エントリーと取り消しの方法

## 追加エントリーの方法

- 1 公益財団法人日本サッカー協会へ、新入団選手の追加登録を行う。  
\* 年度当初、大会参加のために必要な最低人数をクリアしていたが大会エントリーを行って  
いなかったチームについては、必要なし。
- 2 指定されている口座へ、大会参加費を振り込む。  
北海道銀行 豊平支店 普通0873165  
札幌市サッカースポーツ少年団連盟 佐賀 主昌
- 3 以下の3点を郵送またはFAXで、  
北園小学校（〒065-0025 札幌市東区北25条東4丁目3-1  
FAX721-5927）佐々木 謙太郎まで送付する。  
① 大会参加費振り込み用紙のコピー  
② 大会追加エントリー申込用紙
- 4 チームが所属するエリアの代表理事または副代表理事に追加エントリー完了の連絡を入れる。

## エントリー取り消しの方法

- 1 大会エントリー取り消し用紙を郵送またはFAXで、  
北園小学校（〒065-0025 札幌市東区北25条東4丁目3-1  
FAX721-5927）佐々木 謙太郎まで送付する。
- 2 チームが所属するエリアの代表理事または副代表理事に取り消し完了の連絡を入れる。

## 追加エントリー・エントリー取り消しの締切日

大会名	締め切り日
U-12サッカーリーグ	登録終了（追加エントリー不可）
山崎七郎杯8人制（U-10）	5月2日（木） 17:00
全道サッカー少年団大会札幌地区予選	5月10日（金） 17:00
札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会4年の部	6月28日（金） 17:00
札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会5年の部	6月28日（金） 17:00
札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会6年の部	6月7日（金） 17:00
道民共済カップ（U-9）交流大会	6月14日（金） 17:00
トラック協会杯全道大会札幌地区予選（U-11）	6月28日（金） 17:00
川口谷正杯U-12秋季少年サッカー大会	7月12日（金） 17:00
札幌市サッカー少年団（U-10）大会	エリアでの抽選会の1週間前 17:00
JA全農杯全国小学生選抜サッカーIN北海道 札幌地区予選（U-11）	9月6日（金） 17:00
U-11 サッカー交流大会	9月6日（金） 17:00
会長杯兼サバンナカップ（8人制）	8月30日（金） 17:00

# FAX送信票

札幌地区少年サッカー連盟

**大会追加エントリー申込用紙( \* 5月1日(水)以降可能)**

**大会エントリー取り消し用紙**      どちらかにチェックを入れてください。

\*大会追加エントリーには、この用紙のほかに、「大会参加費振り込み用紙のコピー」が必要です。

＜送信先＞      札幌市立北園小学校      佐々木 謙太郎

〒065-0025 札幌市東区北25条東4丁目3-1  
TEL (011) 721-5245  
FAX (011) 721-5927

発信日		
チーム名		
発信者	氏名	
	連絡先電話番号	
FAX内容について確認先	氏名	
	連絡先電話番号	

◇追加エントリーにかかわって、新たに(公財)日本サッカー協会へ追加登録を行った選手数を記入。

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
追加登録人数	人	人	人	人	人	人

◇今回、追加エントリーまたは、エントリー取り消しをする大会に○をつけてください。

大会名	○	大会名	○
山崎七郎杯8人制(U-10)		全日本少年サッカー大会札幌地区プレーオフ / 川口谷杯	
全道サッカー少年団大会札幌地区予選		U11 サッカー交流大会	
札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会4年の部		JA全農杯全国小学生選抜サッカーIN北海道 札幌地区予選(U-11)	
札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会5年の部		札幌市サッカー少年団(U-10)大会	
札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会6年の部		会長杯兼サバンナカップ(8人制)	
道民共済カップ(U-9)交流大会			
トラック協会杯全道大会札幌地区予選(U-11)			

**\* チームが所属するエリアの代表理事または副代表理事に、追加エントリー完了もしくはエントリー取り消し完了の連絡を入れてください。**

**\* エントリー取り消しをしたチームには、後日大会参加費を返還いたします。**

# FAX送信票

**札幌地区少年サッカー連盟**

**合同チーム大会エントリー申込用紙** (\* 5月1日(水)以降可能)

＜送信先＞ **札幌市立北園小学校 佐々木 謙太郎**

〒065-0025 札幌市東区北25条東4丁目3-1  
TEL (011) 721-5245  
FAX (011) 721-5927

\* 合同チームによる大会エントリーには、この用紙と「大会参加費振り込み用紙のコピー」が必要です。

発信日		
合同する 少年団名	A (大会費を振り込むチーム)	
	B	
	C	
発信者	氏名 (少年団名)	
	連絡先電話番号	
FAX内容に ついて確認先	氏名	
	連絡先電話番号	

◇ (公財) 日本サッカー協会へ登録を行っている選手数を記入。

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
A	人	人	人	人	人	人
B	人	人	人	人	人	人
C	人	人	人	人	人	人

◇ 今回、合同チームでのエントリーをする大会に○をつけてください。

大会名	○	大会名	○
山崎七郎杯 8人制 (U-10)		全日本少年サッカー大会札幌地区プレーオフ / 川口谷杯	
全道サッカー少年団大会札幌地区予選		U11 サッカー交流大会	
札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会 4年の部		JA 全農杯全国小学生選抜サッカーIN 北海道 札幌地区予選 (U-11)	
札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会 5年の部		札幌市サッカー少年団 (U-10) 大会	
札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会 6年の部		会長杯兼サバンナカップ (8人制)	
道民共済カップ (U-9) 交流大会			
トラック協会杯全道大会札幌地区予選 (U-11)			

\* 大会によって合同するチームが違う場合は、別々の用紙で大会エントリーを行うこと。

\* 合同チームでのエントリーは、5月1日(水)以降エントリー締め切り日までを受付期間とする。

\* 合同チームのエントリー取り消しは、大会エントリー取り消し用紙で行うこととする。

# 2024年度 審判委員会活動方針(案)

はじめに

スポーツには、「する、観る、支える、知る」といった、4つのかかわり方があるとされています。

これをサッカーに置き換えると、「するサッカー、観るサッカー、支えるサッカー、知るサッカー」ということとなります。

「するサッカー」は、もちろんプレイヤーということになり、最もポピュラーななにかかわり方、楽しみ方と言えるかもしれません。

「観るサッカー」は、スタジアム等の試合会場で、あるいはテレビで、世界中の誰もができるかかわり方、楽しみ方です。

「支えるサッカー」は、指導者はもちろん、運営者やボランティア等、この方達がいなくては、試合は成立しません。これも重要なかかわり方です。

「知るサッカー」は、サッカーのルールや戦術、文化を知る等、サッカーをより楽しむためのかかわり方と言えるかもしれません。

実は、審判員というのは、一度に、これら4つ全てのかかわり方をしている唯一のサッカーファミリーとすることができます。

**SJFAでの審判員は指導者であり、保護者であります。**

審判活動を行うことでよりルールの理解を深め、審判としても子供たちのサッカーの環境を支えていきましょう！

## 1. 目的

- (1) 審判活動の重要性を理解し、子供たちがよりよい環境で試合ができるようにする。
- (2) より多くの方々にルール(競技規則)を正しく理解してもらい、できるだけ多くの試合を経験できるようにサポートしていく。
- (3) 実践できる審判員を増やしていき、審判員としてステップアップを目指せる環境を整えていく。

## 2. 組織

委員長： 佐藤 祐介 (サッカー・フットサル実施事項全般)

副委員長：中川 二郎 (サッカー審判派遣配置担当)

委員： 高橋 大輔 (フットサル実施事項全般)

福島 伸哉 (フットサル実施事項全般)

各区審判委員 (各区チームへの連絡および伝達)

( )内は主な業務担当

### 3. 具体的内容

#### ① 審判活動の周知と理解

- どのように審判活動をおこなうのかを指導者、保護者、(選手)に理解してもらう。
- 試合における審判員の必要性の理解を深める。
- 試合を審判するうえで必要なこと(準備や手順)を理解してもらう。
- サッカーとフットサルのルールの違いや審判方法の違いなども理解してもらい、スムーズにどちらの試合にも対応できるようにする。

#### ② 審判員の普及・育成

- 4級、3級審判員を増やし、実際に審判を行う方も増やす。
- 実際に試合の審判ができるように知識と実技の学習ができる機会を設ける。
- 1人審判制の審判法の理解を深め、実践してもらう(サッカー)。
- プレーイングタイムでの試合の審判方法を理解し、実践してもらう(フットサル)。

#### ③ 上級審判へのチャレンジをサポートする。

- 4級でも副審、主審、1人制審判をこなせるようにする。
- 3級審判の育成を行い、SJFA 主要大会の審判を数多くこなす。
- 昇級の案内をおこなう。
- 保有級を継続的に更新してもらい、昇級へつながるサポートを行う。

### 4. スケジュール(札幌地区サッカー協会審判委員会主催も含む)

4月：サッカー4級審判新規認定講習会(6月まで)

フットサル4級審判新規認定講習会(4月、5月)

サッカー3級昇級審査講習会の案内(審査は6月～8月を予定)

5月：8人制サッカーにおける1人審判講習会

6月～9月：審判実技トレーニングや座学勉強会など

9月：フットサル4級審判新規認定講習会

10月：サッカー・フットサル2、3、4級審判更新講習会(3月まで)

10月～1月：フットサル実技講習会(プレーイングタイムなど)

※2023年度のスケジュールを参考にしております。

本年度の予定は随時案内させていただきます。

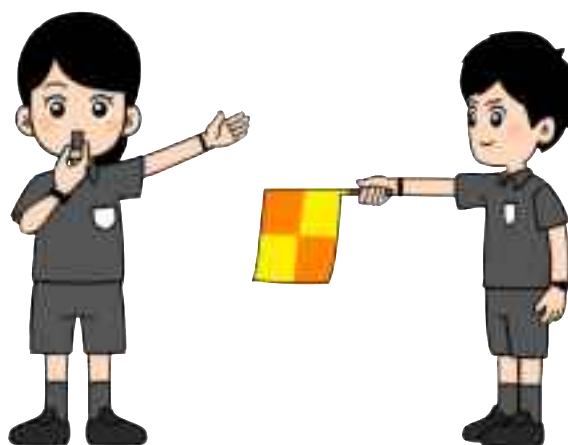
## 5. その他

各チームは4級以上の帯同審判員を置き、開催要項に基づき審判を行うことを義務づける。また、3級審判員育成を図ることに尽力する。

大会において審判活動をおこなう方々は下記事項に順守し、トレーニングに励んできた選手たちが真剣に挑むゲームであることを強く意識して審判業務を遂行してください(プレイヤーズファーストの精神)。

札幌地区のU-12年代においての、技術的・精神的成長を後押しするのも、あるいは阻害するのもその試合を担当する審判および審判チームです。審判員としての自覚も持ちあわせて選手と向き合ってください。

- (1) 試合では、審判服を着用し、ワッペン【胸章、リスペクト章(右胸)】を付けることを原則義務付けます(身だしなみに心がけてください。)
- (2) 電子審判証は必ず携行し、担当の試合前に本部へ提示してください。
- (3) 試合前に審判同士での審判証の確認、審判打合せを行ってください。
- (4) 担当の試合後には審判報告書の記入し提出してください。





## 6. 8人制サッカーにおける1人審判制について

### 8人制サッカー導入の考え方と競技規則

試合は、すべてのプレーヤーにとって最高の楽しみであり、トレーニングの場です。試合をすることで、「サッカーの楽しみ」「仲間の大切さ」などを実感することができます。年代、性別に関わらず多くのプレーヤーに、試合をする機会を増やすために、(公財)日本サッカー協会(以下、JFA)が整備したのが「8人制サッカー」です。「8人制サッカー競技規則」は、「サッカー競技規則」(11人制)に明記されている「サッカー競技の精神」や「サッカーの特色」を維持しつつ、8人制サッカーの特徴を活かしながら、広く日常的に楽しまれることを目指して作成したものです。「8人制サッカー競技規則」で修正されていない部分は、「サッカー競技規則」の規定が適用されます。

「8人制サッカー」は多くのプレーヤーが試合に出場できるようにするために、ピッチを大人のサイズの約半分にし、自由にいつでも交代できるようにしています。JFAは、サッカーをしているすべてのプレーヤーが試合に出場する機会を得て、試合を通して楽しみ、成長する機会を持って欲しいと願っています。練習しているプレーヤー全員が試合に出る。試合を通して練習で身につけた技術や戦術を試してみる。試合の中で見つけた課題を仲間と練習してみる。このことが何よりプレーヤー自身の成長につながると考えています。試合を通して、サッカーを楽しむ、また、サッカーを通して規則や規律を学び、仲間を大切にすることを養うことができると思っています。プレーする選手たちを、指導者・審判員・サポーターが一体となって、励まし、支えることで、サッカーを通して「フェアプレー精神」や「リスペクトの心」を培っていきたいと思っています。

### 「サッカー競技規則」(11人制)から修正した部分

「8人制サッカー競技規則」は、「サッカー競技規則」(11人制)をもとに制定したものです。「8人制サッカー競技規則」で修正した部分は下記(目次)のとおりであり、これ以外の部分は「競技の精神」も含めて「サッカー競技規則」の規定が適用されます。

※8人制サッカーのフィールドの大きさやマーク等、競技規則(ルール)、1人審判については下記の資料を確認してください。

#### 【提供教材】

- 8人制サッカー競技規則 <http://www.jfa.jp/documents/pdf/eight/rules.pdf>

審判級保有の方や審判インストラクター資格保有の方は「JFA スクエア」の「登録審判員向け・インストラクター向け情報」より閲覧が可能です。

<https://square.jfa.jp/squarePtnServlet/RefereeContentsSearch>

※JFA ID へのログインが必要です。

## 7. グリーンカードについて

### グリーンカード

#### ○グリーンカードの考え方○

プレーヤーは、サッカーを通して「全力を尽くすこと」、「助け合うこと」、「フェアに競い、仲間を大切にすること」、「サッカーを楽しむ環境を与えてくれる人に感謝すること」を自然に学んでいます。美しい心を伝えてくれるような感動あるプレーや行為をプレーヤーがしたときに、グリーンカードを示して下さい。

フィールドにいる22人(16人)の観戦者全員が、サッカーの精神に基づいてプレーに集中して観ている中で、ポジティブかつリスペクト溢れる行動をしたときに賞賛や感謝を示す方法の一つがグリーンカードです。

「チームとして共に努力する」  
「フィールド上で互いに助け合う」  
「常にフェアプレーを示す」  
「良いスポーツマンシップを示す」  
「得意をした者を助け合う」  
「敗者も勝者もたたえる」  
「対戦相手、チーム関係者、審判員を大切に思う」  
など、さまざまなリスペクトあるプレーや行動にグリーンカードを示します。

グリーンカードを提示するときに注意することは、  
「試合の流れを止めない」  
「ポジティブな行動の意図を見極める」  
「躊躇せずに示す」  
「誰に示されたのかが分かりやすいように」  
「声やジェスチャーのみでほめたたえるのもよい」

サッカーに関わるすべての人を「互いに大切な仲間」と思い、お互いフェアに競い合い、身につけてきた技術や戦術を精いっぱい出し合ってプレーする。そんなプレーや行動が自分自身のものであると、美しい心が育ちます。このようなポジティブな行動がサッカーの精神に基づいたものであるとき、仲間やサポーターはそれをほめたたえます。プレーヤーは、その行動を認められることによって、さらに成長していきます。



# 審判活動に関するお願い

## 1. 基本的な服装・用具について

- 電子審判証必ず持参してください。
- 服装は審判用の黒色のシャツ、パンツ、ソックスを着用してください。
- シャツには審判資格を示す胸章、リスペクトワッペンを必ず着用してください。
- ホイッスル、試合時間を計測できる腕時計、警告・退場カード・グリーンカード、トスコインを携行してください。(※電子ホイッスルの使用は原則認めない。例外的措置はあり。)

※ソックスはしっかり上まで着用してください。

※ワッペンを安全ピンやテーピングで留めるのは厳禁です。

※第4の審判、予備審判を行う場合、防寒着を着用するのは可能ですが中には審判着を必ず着用してください。

### ワッペンの取り付け位置



## 2.審判打合せについて

試合開始前にその試合を担当する審判員同士で打合せを行ってください。

～主な打合せ内容～

- レギュレーションの確認(対戦カード、試合時間、ユニフォームなど)

- 主審～第4審判

1：アディショナルタイム

2：ベンチコントロール

3：交代

4：負傷者の対応

5：記録事項

6：退場者への対応

※終了間際の優先順位(退場者、負傷者、交代、アディショナルタイム)

- 主審～副審

1：ゴールの判定の合図

2：オフサイドの判定について

3：タッチジャッジの判定について

4：ファウルサポートについて

5：警告、退場のサポートについて

6：ペナルティキックの際の監視分担

- その他

1：延長戦、ペナルティマークからのキックの際の確認事項

2：雷などの緊急事態の一時中断など

3：その他

\*当日の審判割当や試合スケジュールによっては打合せ時間が充分にとれない場合があります。

最低限下線の部分は打ち合わせてください。

## 3.マッチコーディネーションミーティング(MCM)推奨について

試合開始前(30分前まで)に両チームと審判、(できれば会場責任者)で以下の内容の確認をしてください。

1：試合開始予定時間、レギュレーション、メンバー表の提出

2：着用するユニフォームを審判、両チームの合意のもとで決定(最終判断は審判員)

3：張り番などの確認や選手のメガネ、装着具などの申請や許可等

4：タイムスケジュールやベンチの確認、諸注意など

※マッチコミッショナーという存在を設けてないので会場責任者や審判員が率先して行っていただきたいです。

## 警告及び退場の報告

### ▼大会、試合にて「警告者」(イエローカード)が出た場合の対応。

- ① 審判員は試合終了後、審判報告書にて警告の内容を報告。  
▼
- ② リーグ戦やトーナメントにて次に同大会の試合がある場合、チームは次の試合前に警告者がいることを試合前に報告する(会場責任者等)  
▼
- ③ 大会責任者は警告者を把握し、大会期間中は累積なども含め記録しておく。  
▼
- ④ 大会責任者は審判報告書を保管しておく。

### ▼大会、試合にて「退場者」(レッドカード)が出た場合の対応。

- ① 審判員は試合終了後、審判報告書にて退場の内容を報告。※「重要事項」に詳細を記入。  
▼
- ② 会場責任者は審判報告書をもとにチーム責任者と選手に事情聴取を行う。

**※会場責任者とチーム責任者、選手のみで事情聴取は行う(審判、第3者は絶対に含まない)。  
※チーム役員が退場となった場合、退場者と別のチーム責任者で事情聴取を行う。  
事情聴取にて事実と相違がなければ終了。問題があれば SJFA 事務局長、審判委員長に連絡**

- ③ 会場責任者は SJFA 事務局長、審判委員長に報告する。  
▼
- ④ 会場責任者は審判報告書を SJFA 審判委員長に提出する。  
▼
- ⑤ SJFA フェアプレー委員会にて協議され、決定事項がチームに報告される。

#### 注意事項

- ・大会責任者、会場責任者は各大会の開催要項を確認し、累積の警告回数などを把握しておく。
- ・その試合に出場することができない選手・役員のベンチ入りは認めない。
- ・退場者が出た際の事情聴取はあくまでも事実確認を行い、公正かつ公平に行ってください。退場者への必要以上の注意や審判の判定の異論は不要です。
- ・会場責任者は退場に至った行為以外にも目に余る行動や行為をおこなっていた場合は報告してください。

# 2024 年度 技術委員会活動方針（案）

## 1. 委員会の目的

- (1) 札幌の選手に、より良い環境・刺激を与え、「クリエイティブでたくましい選手」を育成する。
- (2) 各チームの指導者と情報交換しながら、連携して選手を育成することを図る。また、指導者へ情報を発信して、より多くの選手に日本サッカーの方向性に触れてもらえるようにする。

日頃より、各チームの指導者および保護者の方々に、技術委員会の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。多くの方々のご尽力により、札幌の少年サッカー界からも多数のJリーガーが輩出されています。

また、近年、多くの方々のご理解とご協力のおかげで、トレセン活動が円滑に行えるようになりました。特に、トレセン活動が、「選抜チーム」という場ではなく、「クリエイティブでたくましい選手の育成」の場であるという理解が浸透してきていることが、一番大きな成果と言えます。また、指導者講習会に多くの方々に参加していただくことで、トレセンだけでなく、札幌の全チームにも、ナショナルトレセンの方向性を理解していただけるようになりました。つまり、「個の育成」という、トレセン活動で、最も大切にしたいテーマに向けて、札幌ブロックがひとつになり始めているということです。

今後も各チームの指導者の方々と情報交換を行いながら、札幌に「クリエイティブでたくましい選手」が育つように、活動を進めていきたいと思えます。

## 2. 活動内容

### (1) トレセン制度によるクリエイティブでたくましい選手の育成

#### I. 選手の条件

- ① 公益財団法人日本サッカー協会ならびに札幌地区少年サッカー連盟に加盟するチームの選手であること。
- ② 向上心に富み、常に努力を怠らない選手であること。



## Ⅱ. トレセン指導体制

トレセン指導スタッフ：札幌地区少年サッカー連盟 技術委員

## Ⅲ. トレーニング内容

NTC から発信されたトレーニングメニューを中心に、各カテゴリーの発達段階や、各年代の課題を考慮して、スタッフがトレーニングメニューを作成する。毎回のトレーニングやゲームの前後に行うスタッフミーティングで選手の状態を把握し、次の課題を抽出して、トレーニングのテーマとして掲げる。1つ1つの活動が選手にとって積み上げとなっていくように、トレーニングの構築化を図る。

## Ⅳ. カテゴリー

### ① U12・U11《ブロック》《4地区》

- ・前期：4月～10月 後期：11月～3月
- ・選出された選手は、前期(4月～10月)の活動を行う。後期(11月～3月)の活動はトレセン指導スタッフが、前期のトレーニングやゲームを見て評価をして継続するかどうかを判断する。
- ・前期・後期の活動でそれぞれ選考会を行い選手の入れ替えを行う。

## V. 《札幌ブロックトレセン》トレーニングについて

### ① 活動回数

U12・U11…練習・マッチ 合わせて 1～2回/月

※以上の活動を原則とするが、諸事情により変更もある。

### ② 練習会場

- ・SSAP 人工芝ピッチ、屋内競技場(東区)・コンサドーレ東雁来グラウンド(東区)・東雁来公園東西(東区)・スポーツ交流施設「つどーむ・屋内アリーナ」(東区)・宮の沢屋内競技場(西区)など

### ③参加費(選手1人分)

U12・U11…前期・後期 2回の徴収

→これらの徴収金は、会場使用料・照明代・指導者の日当や交通費などに使われています。

※大会や遠征に参加する際には、別に費用がかかります。

## (2) NTC伝達講習会による各チームとの連携

今まで、実施してきたNTC講習会を今後も行っていく。NTCの方向性や札幌4種の選手たちの課題等を交流し、連携を図っていきたい。

## 3. 年間計画

4月 U12・U11 前期スタート

北海道トレセンU12 キャンプ(SSAP)

6月 全道少年少女選抜大会(十勝遠征)

8月 札幌トレセン交流大会(U11)

北海道ブロックトレセン交流大会(SSAP)

川崎遠征U11

10月 ナショナルトレセン北海道U12(SSAP)

11月 後期スタート

南北海道トレセンU11(東雁来)



- 1 2月 U11…ガチアーズカップ（神奈川遠征）
- 1月 北海道 U13 トレセン冬季交流大会、U12 トレセン冬季交流大会
- 2月 北海道 U11 トレセン冬季交流大会、

## 4. その他

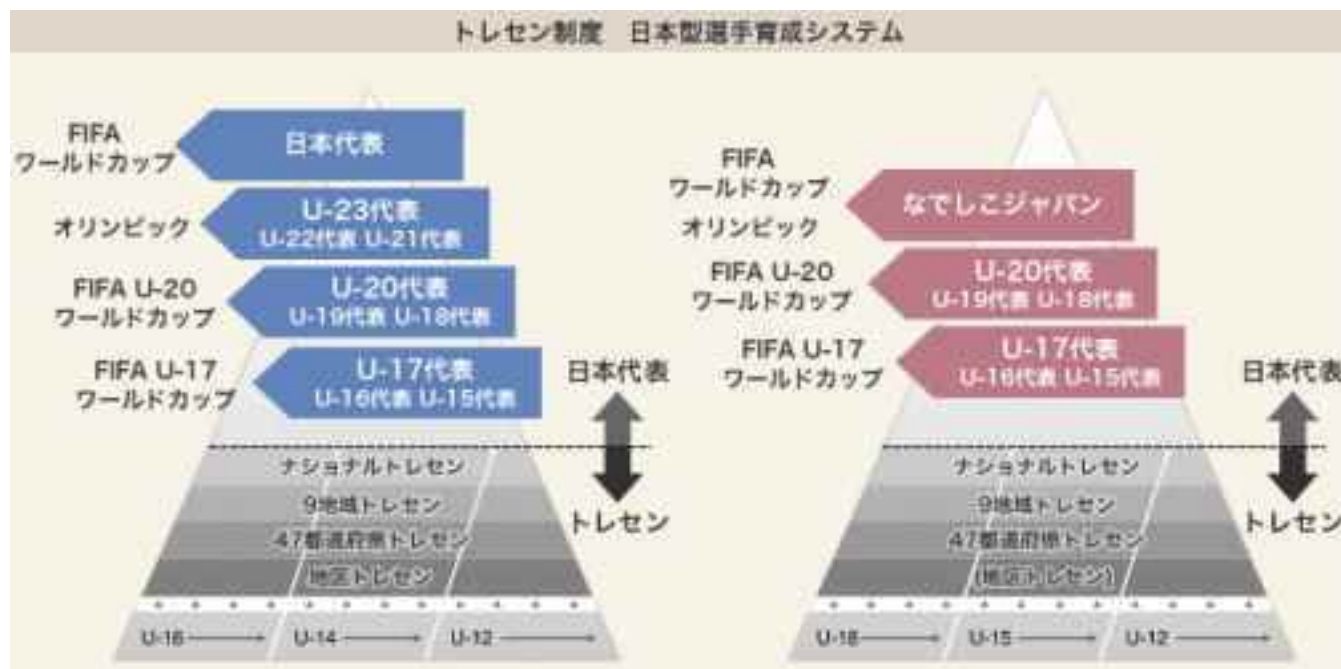
### (1) トレセンマッチデーの設置

JFA では、世界のトップ 10 をめざすための方策の1つとして、トレセン活動の充実を掲げています。選手にとってよりよい環境を作り出し、拮抗したゲームやトレーニングの中でレベルアップを図り、選手を強化していくことが必要となります。その一環として、「トレセンデーの設置」が挙げられています。毎月第4日曜日を「トレセンデー」とし、公式戦を行わず、各種別や各カテゴリーがトレセン活動を統一日として優先的に行っていくという取り組みです（トレセンに選出されていない選手に関しては、各チームでトレーニングやマッチを行ったり、フェスティバルや大会に参加したりして、積極的に活動を進めてください）。

この取り組みによって、種別を超えた活動に着手でき、他ブロックや各地区トレセンとの交流も可能になり、選手の強化として、よりよい環境を作り出せるとともに、選手の過密スケジュールの回避にもつながります。この取り組みは、公益財団法人北海道サッカー協会でも、前向きに進めていくことが決まり、各地区やブロックで日程調整が進められています。わたしたち、札幌でもこの取り組みを積極的に実施していこうと、年間予定について話し合わせ、2011 年度から「トレセンデー」が原則的に毎月第4日曜日に設置されました。

今年度も、各チームの指導者ならびに保護者の皆様におかれましては、この取り組みに是非ともご協力いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

### (2) 資料



# 2024年度 広報委員会活動方針（案）

## 1. 委員会の目的

- (1)関係機関への報告を円滑にするために大会結果や記録を集約する。
- (2)会議や大会を円滑に運営するために、連盟ホームページを運営する。
- (3)必要な情報を共有したり、よりサッカーを楽しんだりするために、札幌地区少年サッカー連盟の活動内容についての広報活動を推進する。

## 2. 活動内容

### (1)大会結果の集約

#### I 大会結果集約の流れ

- ①組合せ及び会場の決定（担当エリアの代表理事、リーグ戦各ブロック運営委員）
- ②大会要項・大会スケジュールの作成（担当エリアの代表理事、リーグ戦ブロック運営委員）  
→L S I N北海道へE-mailで送付。\*大会2週間前まで
- ③メッセージ担当の決定と担当者名簿の一覧作成  
（担当エリア広報委員、リーグ戦ブロック運営委員）  
→L S I N北海道へE-mailで送付。\*大会1週間前まで
- ④L S I N北海道よりメッセージへスコア速報反映 \*大会前夜
- ⑤大会当日試合速報のメッセージ業務（メッセージ担当者）→L S I N北海道
- ⑥札幌地区サッカー協会HPの結果の確認（大会結果に間違いがないか確認する。）  
（担当エリア広報委員、リーグ戦各ブロック運営委員）  
※メッセージ業務は、札幌地区協会とL S I N北海道の契約上、義務付けられている。  
※通信に関わる費用は会場校に支払われる会場校費等から運用する。

#### II 結果集約の大会

大会名	担当
U-12 サッカーリーグ in 北海道 札幌地区リーグ 2024	リーグ運営委員
第 20 回山崎七郎杯 8 人制少年サッカー大会 兼第 21 回全道少年 (U-10) 8 人制サッカー大会 札幌地区予選	第 3 エリア
フジパングループ Presents2024 ロバパン CUP 第 56 回全道 (U-12) サッカー少年団大会札幌地区予選	第 1 エリア
第 38 回札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会 U-10 大会	スポ少部会
第 38 回札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会 U-11 大会	スポ少部会
第 43 回札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会	スポ少部会
道民共済カップ (U-9) サッカー交流大会	広報委員会
トラック協会杯第 36 回全道少年団 (U-11) サッカー大会札幌地区予選	第 4 エリア
第 48 回全日本 U-12 サッカー選手権大会 札幌地区プレーオフ	広報委員会
札幌市サッカー少年団 8 人制 (U-10) 大会	各エリア
第 7 回川口谷正杯 U-12 秋季少年サッカー大会	第 2 エリア
2025 年度全道少年 (U-11) 8 人制サッカー大会 兼 第 22 回 J A 全農杯チビリンピック小学生 8 人制サッカー大会札幌地区予選	第 2 エリア
第 56 回会長杯 兼 札幌中島 LC supportship 第 11 回 Savanna Cup Sapporo	第 1・第 3 エリア
U-11 サッカー交流大会	第 4 エリア
全道フットサル選手権 2024 (U-12 の部) 札幌地区予選	フットサル委員会
U12 札幌地区フットサル大会	第 2・第 3 エリア
第 34 回全日本 U-12 フットサル選手権大会 札幌地区予選 札幌ブロック予選	フットサル委員会
U11 札幌地区フットサル大会	第 1・第 4 エリア

#### III 大会記録写真の撮影

II 結果集約の大会に記された担当者が大会の様子を 3～5 枚程度撮影し、広報委員長に提出する。

#### IV その他

- 札幌地区サッカー協会の年報作成のために次の大会の結果集約を行っていく。
  - ①全道大会については、公益財団法人北海道サッカー協会に協力をいただき保管していく。
  - ②全国大会については、札幌地区のチームが出場した場合、自チームの結果を中心に広報委員会に結果を提出することを義務づける。

### (2)連盟ホームページの運営

- 活動内容や連絡事項を周知することをねらいとして連盟ホームページを運営する。
- 各委員会の活動方針や活動内容、各種書類データ、連盟広報紙「絆」などを掲載する。
- 各委員会及び各エリアと連携を図りながら、より良い内容になるよう工夫をしていく。

### (3)広報紙「絆」の発行

#### I 内容について

- 各大会の様子や結果報告
- 連盟および各委員会からのお知らせ・連絡
- その他、掲載内容としてふさわしいと判断したもの

#### II 執筆割り当て

- 大会結果集約を担当した大会・・・リーグ運営委員、担当エリアの広報委員、各委員会
- 連盟各委員会のお知らせや連絡事項・・・各委員会の委員長等

#### III 「絆」の執筆要綱

- 大会結果集約の担当エリアの広報委員、U-12 リーグの各ブロック担当者が責任を持って執筆する。
- 個人情報保護の面から、戦評に選手の個人名は入れずに作成する。番号は入れてもよい。  
必要に応じて個人名を入れる場合は、指導者と保護者に確認をする。
- ひな形をもとに作成し、担当の大会の絆を完成させ、データを送信する。発行日及びナンバーは委員長が記入する。
- 写真も入れて作成することとする。(撮影は各担当者)
- 原稿は、大会終了後1週間をめぐり、広報委員長 山崎 まで提出する。
- 内容は、各大会の総括を中心とし、試合や表彰の様子の写真を掲載する。また、大会結果のほか大会中に生じた問題点や反省点があれば随時掲載していく。

#### IV 「絆」の扱いについて

- 連盟HPに掲載し、各チームはそこからダウンロードする。
- 団員や保護者の方など関係する方に広く読んでいただくために作成する。各チームでプリントアウトをして全員に配付したり、回覧したりするなどチームごとに工夫することとする。

### 3. 年間計画

- 連盟年間計画に合わせて、随時広報活動を遂行する。

### 4. その他

#### I フライバシーポリシー同意書の管理

- 各チームは、上記の結果集約や広報活動に用いるチーム情報及び記録写真の使用について、チーム関係者全員に確認を取った上で、プライバシーポリシー同意書を提出する。ただし、特別な配慮が必要な場合は、広報委員長へ連絡をする。

※同意書の効力は、連盟及び広報委員会の活動の範囲のみであり、各チームのホームページ等に他チームの選手が含まれた写真等が掲載されるのは好ましくないと考える。今年度も情報モラルの啓発に取り組んでいく。

# 2024年度 フットサル委員会活動方針（案）

## 1 委員会の目的

フットサルの普及、及び技術の向上を図る。

## 2 活動内容

◎フットサルの普及、技術の向上を図る。

- ①エスポラーダ北海道をはじめとする他のカテゴリーとの交流を通して、フットサルの普及、技術の向上を図る。
- ②フットサルトレセンの活動を発展させ、選手の育成・強化を図る。
- ③ファミリーフットサルなど、北海道フットサル連盟及び札幌フットサル連盟等が主催している活動を広く発信する。
- ④エスポラーダ北海道の試合を宣伝し、子供たちがフットサルの試合に興味をもち、観戦する機会が多くなるように努める。
- ⑤フットサルを支える人材（指導者・審判員等）の育成

○全日本 U-12 フットサル選手権大会、全道フットサル選手権札幌予選の大会運営の強化。

- ① 審判を通して、他のカテゴリーとの関わりを大切にし、協力体制を構築していく。
- ② 大会の運営を円滑に進めるために、札幌地区少年サッカー連盟に加盟しているチーム・札幌フットサル連盟に広く協力を呼びかける。
- ③ 各エリアフットサル委員と協力し全日本フットサル、全道フットサルの裏大会(名称まだなし)の運営の強化と協力体制を構築していく。

○札幌フットサル連盟と連携をとる。

- ① 札幌フットサル連盟から全道フットサル、全日本フットサルの会場と運営人材提供の協力。
- ② 情報を共有し、協力体制を整える。
- ③ 札幌フットサル連盟及び札幌地区少年サッカー連盟のホームページ等で情報を発信していく。  
(大会案内・組合せ・試合結果等)

## 3 年間活動予定

6月 8日～9日	全日本 U-12 フットサル選手権大会 北海道代表決定戦(野幌・厚別)
11月～12月	全道フットサル選手権 札幌地区予選(各区体育館)
1月～2月	全日本 U-12 フットサル選手権大会札幌地区予選(各区体育館)
3月 22日～23日	全日本 U-12 フットサル選手権大会札幌ブロック大会(野幌予定)

## 4 その他

- (1) 役員後継者の発掘育成。
- (2) 各種交流大会との連携・協力。

# 2024 年度 リーグ戦委員会活動方針（案）

## 1. 委員会の目的

- (1) 小学生年代において、長期に渡るメインの大会となる U12 リーグを、より良いリーグ戦にしていく。
- (2) 成果・課題の検証等を行い、広く意見を吸い上げる。
- (3) 円滑に大会を運営していく。

## 2. 活動内容

### (1) リーグ戦委員の構成

各区から選出されたリーグ戦委員により、組織される。

### (2) 具体的な役割

- リーグ戦全体の管理運営
- 各エリア所属チームの大会エントリー表の承認・管理
- リーグ・ブロックの検討・編成（昇降格を含む）
- リーグ戦の成果と課題の検証、意見の取りまとめ
- その他、リーグ戦全般に関わること

## 3. 年間計画

- 4 月 大会エントリー表の受付 リーグ戦スタート
- 5 月～11 月 リーグ戦全体の管理運営
- 11 月～12 月 次年度リーグ戦に向けての検討・準備
- 2 月 次年度リーグ戦受付締め切り
- 3 月 リーグ戦運営会議

## 4. リーグ戦についての細則

### (1) 運営

- 各ブロックから1チーム「ブロック運営委員」を推薦する。運営委員となったチームは、日程・会場調整、結果報告、累積・警告の管理など、ブロックの円滑な運営に努める。
- 「ブロック運営委員」とならなかったチームは、会場確保・準備・運営を日程の中で最低1日は行う。

### (2) 日程

- 要項に記載されている日程でブロックごとに必要な日数を開催日として決定し、実施する。原則として全試合を実施する。
- 一日又は二日で2節分の試合を行うことを原則とする。連続する2日間で3試合以上行わない。
- 4月5月で2～3日、6月から8月で2～4日、9月から11月で2～3日を基準に開催することを原則とする。
- 最終日は必ず10月以降とし、この日までに全日程が終了できるようにする。

### (3) エントリーについて

- 大会エントリー表兼メンバー表は、リーグ戦委員がメールで受け付ける。
- 追加エントリーがある場合は、Web登録等所定の手続きが完了してから随時認める。その際、その選手の名前を記載した大会エントリー表兼メンバー表を作成し、リーグ戦委員に提出して確認を受けることとする。その手続きはその試合の前日までとする。背番号の変更がある場合も同様とする。作成した大会エントリー表兼メンバー表を、それまでのものに重ねてホッチキス止めして使用する。
- 複数エントリーのチームの選手の入れ替えの期間（移籍ウインド）は、3回（5月26～31日、8月4～9日、9月29日～10月4日）とし、区のリーグ戦委員にメールでの提出により手続きを行うことができる。複数エントリーのチーム同士で重複することのないように大会エントリー表兼メンバー表を作成する。  
※但し、同一選手の移籍において、総試合は16試合以内とする。
- 大会エントリー表兼メンバー表が破損や紛失した場合は、リーグ戦委員に提出したもの（全版）を再度印刷して使用することとする。

### (4) 全日本 U-12 サッカー選手権大会へのつながり

- リーグ戦の結果をもとに全日本 U-12 サッカー選手権大会札幌ブロック予選に進出する4チームと、札幌ブロック予選につながるプレーオフに進出するチームを決める。各進出チームの決定は、総当たり1回戦の結果で決定する。なお、「合同チーム」がその権利を得た場合は、次順位以降をくりあげて、権利を与える。その際の順位は、各ブロック内の全チームの成績で確定した順位とする。同時に、プレーオフに進めなかったチームが出場する権利をもつ大会を設け、同じ時期に開催する。
- 札幌ブロック予選・プレーオフに進出するチームは次の通り。なお、順位は、(5)⑤と同じ方法で決定する。
  - ・札幌ブロック予選に進出するチーム  
S部の1位から4位（4チーム）
  - ・プレーオフに進出するチーム  
出場義務付け S部の5～9位（5チーム）、1部（9チーム）、2部の全チーム（18チーム）  
出場可能 3部以下で出場を希望するチーム
- 全日本 U-12 サッカー選手権大会札幌ブロック予選につながるプレーオフ（ブロック大会含む）には、プレーオフエントリー時点における「大会エントリー表兼メンバー表」に記載されたメンバーから16名を選出してエントリーすることとする（その際、背番号の変更は可能）。なお、選手登録に関しては札幌ブロック大会までは同一大会とみなす。

### (5) リーグ・ブロック編成

- ①2024年度は、次の6つのカテゴリーに分けてブロック編成を行う。
  - S部：（9チーム：1ブロック）
  - 1部：（9チーム：1ブロック）
  - 2部：（18チーム：2ブロック）
  - 3部：（36チーム：4ブロック）
  - 4部：（26チーム：3ブロック）
  - 5部：（27チーム：3ブロック）新規チームはここからスタート。原則、1部と2部は9チームリーグ、3部以下は8チームリーグとなることがある。また、3部以下については、登録チーム数の状況により年度によりチーム数が変わることがある。
- ②リーグ戦の結果による入れ替え（自動昇降格・入れ替え戦による結果）は受諾しなければならない。  
※ただし、特別な事情がある場合は、降格を希望する旨を文書で提出してもらい、リーグ戦委員会を中心に検討する。
- ③自動昇降格による入れ替えについて、
  - ・S部の下位2チームと1部の上位2チーム
  - ・1部の下位2チームと2部の1位2チーム
  - ・2部の下位2チームと3部の1位チーム
  - ・3部の下位2チーム（下位合計6チーム）と4部の上位2チーム

- ・4部の下位2チームと5部の上位2チーム

同順位で選考が必要な場合は、⑥と同じ方法で決定する。

※3部及び4部で9チームリーグができた場合、3チーム（7位・8位・9位）が降格することがある。

※2025年度の4部は4ブロックになるように編成する。2024年度5部上位チームは、4部空位に昇格する。

④入替戦は次の通り実施する。（同ブロック・同順位での成績順 a→b→c→d）

〈入れ替え戦の対戦〉

- ・S部の7位 と 1部の3位
- ・1部の7位 a と 2部の2位 a
- ・2部の7位 a と 3部の2位 b
- ・2部の7位 b と 3部の2位 a
- ・3部の8位 a と 4部の3位 b
- ・3部の8位 b と 4部の3位 a

〈入れ替え戦の実施について〉

- ・11月10日に決められた会場で実施する。
- ・チーム事情で出場できない場合は、相手チームの勝利とみなす。
- ・試合で引き分けの場合、また天候等により決められた日に実施できない場合など、勝負を消すことができないときは、上位チームの残留とする。

〈翌年度のブロック編成〉

- ・入れ替え戦に勝利したチームが特別な事情で昇格・残留できなくなった場合は、入れ替え戦に出場したチームが昇格・残留する。それでも埋まらない場合は、下位リーグから成績順に昇格する場合がある。

⑤同一リーグ内のブロック分けについては、前年度の成績（順位、勝ち点、得失点差、総得点）をもとに編成する。

※試合数があわない場合、勝ち点÷試合数を勝ち点獲得率とし、比較する（少数第4位で繰り上げ）  
勝ち点獲得率が同率の場合は、①同じ試合数の場合：得失を比べる②違う試合数の場合：得失÷試合数 で比べる。さらに同じ場合、得点数で同様に比べる。

※新型コロナウイルス感染防止対策等により全日程を終了できなかったブロックは、1回戦総当たりの結果で順位を決定する。1回戦総当たりも終了できなかった場合は、順位を付けない（そのブロックのチームは昇降格の対象としない）。

⑥チームの抹消などで空位ができた場合、入替え前の上位リーグチームを優先し、重複した場合は当該順位の成績上位チームから優先して空位を埋める。それでも埋まらない場合などは下位リーグから昇格する。

⑦新規チームは5部リーグからの参加を原則とする。参加するブロックはリーグ戦委員会にて抽選で決定する。

⑧チームの合併や合同、名称の変更等の場合は、変更前の上位チームが所属していたリーグに参加することを原則とする。また、2チームが合併して新チームとなり、新たな名称で2チーム出す場合は、合併前チームそれぞれの所属リーグに参加することを原則とする。

※備考1)「新規チーム」とは、前年度リーグに所属していた実績のないチームのことである（複数チーム含む）

※備考2)「合併」とは、協会登録していた2チームが1チームになること。（全員が移籍・片方のチームがなくなること。）

※備考3)「合同」とは、当該年度に協会登録している2チームが、合同チームが認められている大会のために1チームをつくること。ただし、「合同チーム」は全日本U-12サッカー選手権大会には出場できない。



- ⑨母体が同じチームは同じブロックに入らないよう考慮する。同じリーグにブロック数以上のチームが参加する場合は、上の原則に基づき、1つ下のリーグに所属することとする。
- ⑩「合同チーム」の数が同一ブロックに多くならないよう、配慮する場合がある。
- ⑪昇降格について、母体が同じチームがすでに上位リーグにあり、昇格ができない場合等、事情により昇格できないチーム（以下「該当チーム」）の扱いについて、⑥より、(1)自動昇格圏内に「該当チーム」がある場合、上位リーグの自動降格チームの上位チームが残留し、自動降格チームが入れ替え戦チームに変わる。(2)入れ替え戦順位に「該当チーム」がある場合、上位リーグの入れ替え戦チームが残留し、自動降格チームは変わらない。(それでも埋まらない場合は、下位リーグから昇格する場合がある)
- ⑫昇降格について、想定外の事例が出てくる可能性も考えられる。その場合は、リーグ戦委員会に一任してもらい、対処して決定する。
- ⑬ブロック運営を円滑に行うため、ブロック編成において、会場確保できるチームのバランスをとって決定する場合がある。

## (5) その他

- 各チーム指導者はリーグ戦実施の意義や（公財）日本サッカー協会の方針を十分に理解し、試合に臨むこと。ベンチ入り選手は、前半もしくは後半のいずれかに必ず出場させるなど、選手の出場機会確保には十分に配慮すること。
- 本大会に参加するチームは、（一社）札幌地区サッカー協会主催の指導者講習会（5月開催予定）に登録1チームにつき1名以上の参加を義務付ける。
- リーグ戦期間中に事情によりチームが参加不可能となった場合、そのチームの該当結果はすでに終わった試合も含め、リーグの最終結果には反映されない。
- 2025年度のリーグ戦参加のための申込締切は、新規チームを含め、2025年2月28日（金）である。申込方法の詳細については後日連絡する。問い合わせがある場合は、各エリアのリーグ戦委員へ早めに連絡すること。

# 札幌地区少年サッカー連盟規約

## 第1章 総 則

第1条 本会の名称は『札幌地区少年サッカー連盟』と称する。  
英語表記「Sapporo Junior Football Association」（略称 SJFA）

第2条 本会の事務局は、事務局長の勤務所におく。

## 第2章 目 的

第3条 本会は、札幌地区少年サッカー水準の向上、普及および豊かな人間形成の確立に努め、相互の親睦を深めることを目的とする。

## 第3章 事 業

第4条 第3条の目的を達成するために、総会で承認された事業を行う。

## 第4章 組 織

第5条 公益財団法人日本サッカー協会、公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人札幌地区サッカー協会に登録したチームで組織する。なお、スポーツ障害保険加入を義務づける。

## 第5章 役 員

第6条 本会の運営のため、次の役員をおく。

①最高顧問	1 名	⑦事務局長	1 名
②顧 問	10名程度（会長の推薦）	⑧事務局次長	若干名
③会 長	1 名	⑨各委員長	各1名
④副会長	若干名	⑩各副委員長	若干名
⑤理事長	1 名	⑪各エリア代表理事	各1名
⑥副理事長	若干名	⑫各エリア副代表理事	若干名
		⑬会計監査	2 名

第7条 各役員の任期は2年とし、再任は妨げないものとする。

## 第6章 会 議

第8条 本会における最高決議機関として、全市総会を開く。

(1) 構成 全市総会は、会長、副会長、理事長、理事及び本連盟加盟チーム代表者によって構成する。

(2) 開催 ・毎年4月に定例総会を開催する。  
・チーム代表者の1/2以上の要求がある場合。  
・会長が必要と認めた場合。

(3) 内容 ①規約、要項の改廃審議  
②会計の審議、承認  
③第3章の第4条の報告、承認  
④第5章の第6条の互選、承認  
⑤その他

(4) 成立・決定 開催は加盟チームの1/2以上の出席を必要とする。  
委任状は出席とみなす。  
議決は、出席者の過半数の承認を必要とする。

第9条 本会の会務を推進するため、以下の会議を開催する。

(1) 指導者会議 年間数回にわたり、チームを代表する指導者が集まり連盟の運営事項を審議したり大会の連絡をしたりする。代表する指導者が欠席する場合は代理者を立てることができる。

(2) 事務局会 理事長、事務局長、事務局次長で構成し、連絡調整をはかる。必要に応じて、理事長が召集し開催する。

(3) 拡大事務局会 理事長、副理事長、事務局長、事務局次長、各委員長で構成し、連絡調整をはかる。必要に応じて、理事長が召集し開催する。

- (4) 常任理事会 会長、副会長、理事長、副理事長、事務局長、事務局次長、正副各委員長、各区代表理事をもって構成し、理事長が議長となる。常任理事会は、総会より委任された事項及び緊急事項を処理する。2か月に一回の開催を原則とする。
- (5) 役員選考委員会 2年ごとの改選にあたり選考委員長（副会長）を中心に理事長、副理事長、事務局長、次長（1名）、各委員長で次期役員を選考し、理事会の承認を経て、総会に諮る。
- (6) 顧問会 最高顧問、顧問で構成し、会長の諮問により開催する。

## 第7章 運 営 費

第10条 本会の経費は、次によるものとする。

- ① 加盟金 1チーム 30,000円
- ② 協賛金及び銀行預金利息、その他

第11条 会計年度は、4月1日より3月31日までとする。

## 第8章 後 援 会

第12条 本会の活動を援助するために、後援会を組織し、全チームの加入を義務づける。

## 第9章 付 則

第13条 各大会は、各区等で実行委員会を構成し、計画実行する。  
抽選は各実行委員会で実施する。

第14条 本会に登録している選手・指導者・連盟役員および関係団体に慶弔事がある時は、以下の  
ように本会の意を表す。

- ①指導者および連盟役員の結婚に際しては、記念品を贈る。
- ②選手・指導者・連盟役員および関係団体の不幸には、香典または供花または弔電を贈る。

第15条 この規約は、平成8年4月22日一部改正、平成10年4月23日一部改正、平成12年4月19日一部改正、平成14年4月18日一部改正、平成17年4月13日一部改正、平成18年4月13日一部改正、平成19年4月12日一部改正、平成23年4月13日一部改正、平成25年4月15日一部改正、平成26年4月14日一部改正、平成28年4月12日一部改正、平成29年4月10日一部改正、令和3年4月18日一部改正、令和5年4月16日一部改正、令和6年4月15日一部改正により実施する。

大会費合計金額を 少年サッカー連盟に納付
-------------------------

1. 大会参加に関わる費用は、年度初めに納入する。

大会名	大会参加費
U-12サッカーリーグ	14,000円
山崎七郎杯8人制(U-10)	8,000円
全道(U-12)サッカー少年団大会 札幌地区予選	8,000円
札幌市スポーツ少年団交流大会 4年の部	3,000円
札幌市スポーツ少年団交流大会 5年の部	3,000円
札幌市スポーツ少年団交流大会(6年)	3,000円
トラック協会杯全道(U-11)	6,000円
全日本U-12サッカー選手権大会札幌地区プレーオフ 川口谷正杯U-12秋季少年サッカー大会	8,000円
JA全農杯全国小学生選抜サッカーIN北海道	6,000円
(新設)U-11サッカー交流大会	6,000円
札幌市サッカー少年団(U10)大会	5,000円
札幌地区U-12フットサル大会	8,000円(予定)
札幌地区U-11フットサル大会	8,000円(予定)
札幌各エリアフットサル交流大会	各エリアで設定

※U-12サッカーリーグは、納入済み。

※道民共済カップ・会長杯兼サバナカップについては冠大会のため、参加費は必要としない。

※複数チームのエントリーが可能な大会において、複数チームをエントリーする場合は、参加チーム数分の合計金額を納入する。(別頁 大会参加条件参照)

※合同チームで出場できる大会において、合同チームを結成して参加する場合は、合同チームの代表チームが参加費を納入する。(別頁 大会参加条件参照)

2. 大会参加費を、年度初めに納入していないチームでも、追加エントリー締切日までに、参加の意志を連盟(事務局)に表し、参加費を納入したチームには大会の参加を認める。

3. 大会参加費を納入したチームが、何らかの事情により大会に出場できなくなった場合は、そのことが追加エントリー締切日以前に分かった場合は参加費を返納するが、追加エントリー締切日以降については、返納には応じない。

4. フットサル大会については詳細が決まり次第、フットサル委員会より連絡する。

- 5.
6. 全日本U-12サッカー選手権大会 札幌ブロック予選に進出した場合、別途3,000円を納入すること。
7. 市内の大会の日当、交通費、審判費は、以下の金額を基準とする。（ただし、大会によって調整することがある。）

**[大会役員日当・交通費]**

日 当 (半日) 1,000円 (1日) 2,000円 交通費 1,000円

**[会場設営費]**

◎ 1試合当たり1,000円を基本とする。

※リーグ戦については8試合で5000円を原則とする。

**[審判費]**

(サッカー) 主審(1人) 1,000円 副審(2人) 各500円

(フットサル) 主審 800円 第2審判 800円 副審 300円

(室内サッカー) 主審 500円 第2審判 500円 副審 200円

**[トレセン関係]**

日 当 1,500円 交通費 1,000円

8. 各会場の責任者は、試合終了後、審判費支給受領表・役員日当交通費支給受領表（ある場合）等必要書類を各大会責任者あてに1週間以内に送付する。区予選がある場合は、代表理事が取りまとめ、大会責任者へ送付する。
9. 各大会責任者は、大会終了後2週間以内に事業報告書を作成し、事務局次長田中拓哉へ提出する。事務局次長は、理事長ならびに事務局長の承認を受けた後、大会終了後3週間以内に（一社）札幌地区サッカー協会に領収書を添えて提出する。
10. 加盟チームに対しての会計報告は、その都度にはせず、4月の総会時に一括して行う。

## 2024年度

## 札幌市サッカースポーツ少年団連盟 事業計画

	事業名	日程・会場	担当	複数	合同	参加資格 大会方法	全道大会・他	
	札幌市サッカースポーツ少年団連盟 総会	4/15(月) ホテルライフオート札幌	事務局			加盟 全チーム		
	札幌市サッカースポーツ少年団連盟 総合開会式	4/20(土) 札幌ドーム	事務局			加盟 全チーム		
1	U-12サッカーリーグ in 北海道 札幌地区リーグ2024	4/21(月)~11/4(月) 入替戦11/10(日)	リーグ戦 委員会 ブロック 運営委員	○	○	9チーム編成 総当たり 2回戦	参加数により 7・8チーム 編成もある	
2	第20回山崎七郎杯 8人制少年サッカー大会 兼 第21回岩内町長杯全道少年U-10サッカー-北海道大会 札幌地区予選	5/27(土)5/28(日)6/1(土)8(土) 15(土)16(日)22日(土)	第3エリア	○	○	予選リーグ 代表決定 トーナメント	7/15~17 (岩内) 札幌11代表	
3	フジパングループPresents 2024ロバパンCUP 第56回全道(U-12)サッカー少年団大会 札幌地区予選	6/23(日)29(土)30(日)	第1エリア	○	○	10ブロック トーナメント	7/29~31 (札幌) 札幌10代表	
4	第43回札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会	7/7(日)	札幌市 スポ少 サッカー 専門部	○	○	札幌市 スポーツ少年団 登録チーム 6年以下		
6	道民共済カップ(U9)サッカー交流大会	7/20(土)21(日)	事務局	○	○	5人制 1/8コート フットサルゴール		
5	第38回札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会新人戦 5年の部・4年の部	5年の部 8/3(土) 4年の部 8/4(日)	札幌市 スポ少 サッカー 専門部	○	○	札幌市 スポーツ少年団 登録チーム		
7	トラック協会杯 第36回全道少年団(U-11)サッカー大会 札幌地区予選	8/10(土) 17(土)18(日)	第4エリア	○	○	6ブロック トーナメント	9/16~18 (札幌) 札幌6代表	
8	札幌市サッカー少年団8人制(U10)大会	8/31(土)~9/29(日)	各エリア	△	○	各エリアで 実施		
9	JFA第48回全日本U-12サッカー選手権大会 札幌地区プレーオフ 北海道 札幌ブロック大会 ※道協会主催	9/1(日)7(土)8(日) 9/23(月祝)	リーグ戦 委員会	○	検討 中	U12リーグ 参加チーム 4ブロック トーナメント	10/7~9 (小樽) 札幌4代表	
10	第7回川口谷正杯U-12秋季少年サッカー大会	9/1(日)7(土)8(日) 23(月祝)	第2エリア	○	○	複数ブロック トーナメント		
11	第56回会長杯 兼 札幌中島LC supportship 第11回 Savanna Cup Sapporo	10/6(日)12(土)14(月祝)	第1エリア 第3エリア	○	○	8人制 複数ブロック トーナメント		
12	2025年度全道少年(U-12)8人制サッカー大会 兼第22回JA全農杯全国小学生選抜サッカー-IN北海道 札幌地区予選	10/13(日)19(土)20(日)	第2エリア	○	×	3P制 16名以上 トーナメント U-11	2024年4月 (苫小牧) 札幌2代表	
13	U-11サッカー交流大会	10/13(日)19(土)20(日)	第4エリア	○	○	複数ブロック トーナメント		
全道	トラック協会杯 第36回全道少年団(U-11)サッカー大会	9/14(土)~16(月祝)	主管：(一社)札幌地区サッカー協会 少年サッカー連盟で運営					
フ	全道フットサル選手権大会2025(U-12の部) 札幌地区予選	11/16(土)~12/21(土)	フットサル 委員会	○		リーグ戦 トーナメント		
フ	札幌地区U-12フットサル大会	11/16(土)~12/21(土)	フットサル 委員会	○		リーグ戦 トーナメント		
フ	第35回全日本U-12フットサル選手権大会 札幌地区予選 北海道予選 札幌ブロック大会 ※道協会主催	1/5(日)~2/8(土) 3/22(土)23(日)	フットサル 委員会	○		リーグ戦 トーナメント		
フ	札幌地区U-11フットサル大会	1/18(土)~2/9(日)	フットサル 委員会	○		リーグ戦 トーナメント		

U-12サッカーリーグ in 北海道 札幌地区リーグ2024 開催要項

目的	実力の拮抗したチーム同士による長期にわたるリーグ戦を行うことで、選手の試合出場機会を増やし、選手個人のモチベーションのアップおよび個人技能のレベルアップを図る。同時に、JFA全日本U-12サッカー選手権大会の予選を兼ねる。
主催	(公財) 北海道サッカー協会
主管	(一社) 札幌地区サッカー協会、札幌地区少年サッカー連盟
後援	札幌市教育委員会、(一財) 札幌市体育協会、札幌地区少年サッカー連盟後援会
運営	リーグ戦委員会 各ブロックの参加全チーム
期日	2024年4月21日～11月4日 入替戦11月10日
参加資格	①(公財) 日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ②同一参加選手が異なる加盟チームへ移籍後、異なる加盟チームから参加することができる。複数エントリーチームの場合は、移籍可能期間内において移籍をすることができる。 ③引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。 ④参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。 ⑤参加選手はスポーツ安全協会傷害保険(第1種A)もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ⑥6年生が9名以上登録されているチームは、2チーム以上の参加が可能である(複数エントリー規定に基づく)。ただし、女子のみのチームを複数エントリーする場合は、この限りではない。リーグ戦の目的を踏まえ、3年生以下の参加についてはチームで十分に検討すること。 ⑦単独チームでの参加が難しい場合は、近隣の複数チームで合同チームを結成しての参加も可能である。なお、その場合は、6年生の選手が7名以下のチーム同士であることが条件となる。
競技規則	(公財) 日本サッカー協会「サッカー競技規則2023/24」及び「8人制サッカールールと審判法」による。
競技方法	① <b>リーグ戦</b> 各ブロック2回戦総当たりのリーグ戦を行い、順位を付ける。リーグ戦の順位の決定方法は(1)勝ち点(勝ち:3点、引き分け:1点、負け:0点)、(2)得失点差、(3)総得点、(4)対戦相手、(5)抽選の結果とする。また、リーグ戦の総試合数が16試合に満たない場合は、ブロック内で追加の試合を行う。 ② <b>競技のフィールド</b> ピッチサイズは、60～68m×40～50mとする。 ③ <b>試合球</b> 公認球4号ボールとする。 ④ <b>競技者の数および交代</b> 試合は8人(うち1名はゴールキーパー)で行う。ベンチ入り人数の制限はなし、フリー交替制とする。ゴールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。 ⑤ <b>競技者の用具</b> 競技者の用具は、実施年度の(公財) 日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「SJFAユニフォーム規定」に従うものとする。試合開始30分前までにユニフォームのチェックを義務付ける。 ⑥ <b>審判員</b> 1人の主審と1人の補助審(必須)で運営することを基本とする。ただし、状況に応じて主審と副審の計3人で運営することも可能である。 ⑦ <b>試合時間</b> 前後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。 ⑧ <b>その他</b> 暑熱下において、前・後半中ほどに飲水タイムを採用する。
懲罰	①リスペクト・フェアプレー委員会を設ける。委員長は(一社) 札幌地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。 ②大会期間中に警告を3回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。 ③大会期間中において退場させられた競技者は次の1試合に出場できず、それ以降の措置については、(一社) 札幌地区サッカー協会リスペクト・フェアプレー委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。 ④大会要項に記載されていない事項については、リスペクト・フェアプレー委員会で決定する。
その他	①札幌地区少年サッカー連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ②選手証(電子選手証もしくは印刷(一覧可)したもの)、大会エントリー表兼メンバー表を持参すること。 ③JFA全日本U-12サッカー選手権大会(札幌地区プレーオフ又は札幌ブロック大会)について、1・2部の全チームには出場を義務付ける。また、3部以下で希望するチームは、出場することができる。 ④入れ替え戦を行うこととし、その詳細は別に定める。 ⑤可能な限り、マッチ・ウェルフェアオフィサーを配置する。



第20回山崎七郎杯 8人制少年サッカー大会

兼 第21回岩内町長杯全道少年U-10サッカー南北海道大会 札幌地区予選 開催要項

目的	札幌地区の少年サッカーのレベルアップを図るとともに、全道少年（U-10）サッカー大会に札幌地区代表として出場するチームを決定する。
主催	（一社）札幌地区サッカー協会
主管	（一社）札幌地区サッカー協会第4種委員会、札幌地区少年サッカー連盟
後援	札幌市、札幌市教育委員会、（一財）札幌市スポーツ協会、札幌市スポーツ少年団 札幌地区少年サッカー連盟後援会
運営	札幌地区少年サッカー連盟第3エリア
期日	予選リーグ 2024年5月25日（土）6月1日（土）8日（土）15日（土）16日（日） 代表決定トーナメント 2024年6月22日（土）
参加資格	①（公財）日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する小学校4年生以下の選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ②札幌地区予選から北海道大会に至るまで、同一選手が異なる加盟チームへ移籍後、再び参加することはできない。 ③引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。 ④参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。 ⑤参加選手はスポーツ安全協会傷害保険（第1種A）もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ⑥本大会は、少年サッカー連盟複数チームエントリー規定に則り、同一加盟チームより複数チームエントリーが可能である。また、少年サッカー連盟合同チームエントリー規定に則り、合同チームでの参加が可能である。
競技規則	（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則2023/24」及び「8人制サッカールールと審判法」による。
競技方法	①予選リーグ 参加チームを44（各3～4チーム）のブロックに分け、総当たり戦を行う。各ブロックの1位が代表決定トーナメントに進出する。参加チーム数により4チームリーグの2位も進出することがある。順位決定は、勝ち点（勝：3 引分：1 負け：0）、得失点差、総得点、当該チームの対戦結果、抽選の順とする。参加チーム数によりブロックの数は前後することがある。 ②代表決定トーナメント 予選リーグを勝ち上がったチームで、トーナメント戦を行う。同点の場合は、PK戦（3名ずつ）により次回進出チームを決定する。代表決定戦においては、6分の延長戦（3分ー3分）を行い、なお決しない時はPK戦（3名ずつ）により決定する。 ③競技のフィールド ピッチサイズは、60～68m×40mとする。 ④試合球 公認球4号ボールとする。 ⑤競技者の数および交代 試合は8人（うち1名はゴールキーパー）で行い、16名登録のフリー交替制とする。ゴールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。 ⑥競技者の用具 競技者の用具は、実施年度の（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「SJFAユニフォーム規定」に従うものとする。 ⑦審判員 主審、補助審の2名で運営する。 ⑧試合時間 前後半とも12分間とし、ハーフタイムのインターバルは3分とする。 ⑨その他 暑熱下において、前・後半中ほどに飲水タイムを採用する。
懲罰	①リスペクト・フェアプレー委員会を設ける。委員長は（一社）札幌地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。 ②大会期間中に警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。 ③大会期間中において退場させられた競技者は次の1試合に出場できず、それ以降の措置については、（一社）札幌地区サッカー協会リスペクト・フェアプレー委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。 ④大会要項に記載されていない事項については、リスペクト・フェアプレー委員会で決定する。
その他	①札幌地区少年サッカー連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ②選手証（電子選手証もしくは印刷したもの）、大会エントリー表、メンバー表を持参すること。 ③札幌代表11チームは全道少年U-10サッカー大会（7月13日～15日・岩内）への出場を義務づける。 ※全道大会出場チームは3級以上の帯同審判を義務付ける。帯同審判員は、監督と兼務できない。帯同審判員がベンチ入りのコーチとなる場合、審判業務を優先するものとする。 ④大会の追加エントリー及び取り消しの締め切りは、抽選日10日前の17：00とする。 ⑤代表決定トーナメントにはマッチ・ウェルフェアオフィサーを配置する。また、その他にも配置することがある。

フジパングループPresents 2024ロバパンCUP  
第56回全道（U-12）サッカー少年団大会 札幌地区予選 開催要項

目的	札幌地区の少年サッカーのレベルアップを図るとともに、フジパングループPresents ロバパンCUP 全道サッカー少年団大会に札幌地区代表として出場するチームを決定する。
主催	（一社）札幌地区サッカー協会
主管	（一社）札幌地区サッカー協会第4種委員会、札幌地区少年サッカー連盟、石狩市スポーツ少年団サッカー専門部
後援	札幌市、札幌市教育委員会、（一財）札幌市スポーツ協会、札幌市スポーツ少年団 札幌地区少年サッカー連盟後援会
運営	札幌地区少年サッカー連盟第1エリア
期日	2024年6月23日（日）29日（土）30日（日）
参加資格	①（公財）日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ②札幌地区予選から北海道大会に至るまで、同一選手が異なる加盟チームへ移籍後、再び参加することはできない。 ③引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。 ④参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。 ⑤参加選手はスポーツ安全協会傷害保険（第1種A）もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ⑥本大会は、少年サッカー連盟複数チームエントリー規定に則り、同一加盟チームより複数チームエントリーが可能である。また、少年サッカー連盟合同チームエントリー規定に則り、合同チームでの参加が可能である。
競技規則	（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則2023/24」及び「8人制サッカールールと審判法」による。
競技方法	①トーナメント戦 参加チームを10ブロックに分け、トーナメント戦を行う。同点の場合は、PK戦（3名ずつ）により次回進出チームを決定する。準決勝、決勝戦においては、10分の延長戦（5分—5分）を行い、なお決しない時はPK戦（3名ずつ）により決定する。 ②シード 前年度トラック協会杯及びJA全農杯の地区代表チームとブロック2位のチームをシードする。 ③競技のフィールド ピッチサイズは、68m×50mとする。 ④試合球 公認球4号ボールとする。 ⑤競技者の数および交代 試合は8人（うち1名はゴールキーパー）で行い、16名登録のフリー交替制とする。ゴールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。 ⑥競技者の用具 競技者の用具は、実施年度の（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「SJFAユニフォーム規定」に従うものとする。 ⑦審判員 主審、補助審判の2名で運営する。 ⑧試合時間 前後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。 ⑨その他 暑熱下において、前・後半中ほどに飲水タイムを採用する。
懲罰	①リスペクト・フェアプレー委員会を設ける。委員長は（一社）札幌地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。 ②大会期間中に警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。 ③大会期間中において退場させられた競技者は次の1試合に出場できず、それ以降の措置については、（一社）札幌地区サッカー協会リスペクト・フェアプレー委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。 ④大会要項に記載されていない事項については、リスペクト・フェアプレー委員会で決定する。
その他	①札幌地区少年サッカー連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ②選手証（電子選手証もしくは印刷したもの）、大会エントリー表、メンバー表を持参すること。 ③札幌代表10チームは全道大会（7月29日～31日・札幌地区）への出場を義務づける。 ④大会の追加エントリー及び取り消しの締め切りは、抽選日10日前の17：00とする ⑤各トーナメントの準決勝・決勝にはマッチ・ウェルフェアオフィサーを配置する。また、その他にも配置することがある。

第38回札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会新人戦 〈5年の部・4年の部〉 開催要項

目的	札幌市の少年サッカーの技術の向上と心身の健全な育成とスポーツ精神の高揚を図る。
主催	札幌市スポーツ少年団
共催	(公財)北海道スポーツ協会北海道スポーツ少年団
主管	札幌市スポーツ少年団サッカー専門部、札幌地区少年サッカー連盟
後援	札幌市、札幌市教育委員会、(一社)札幌地区サッカー協会、札幌地区少年サッカー連盟後援会
運営	札幌市スポーツ少年団サッカー専門部実行委員会
会場	市内小学校グラウンド
期日	5年の部 2024年8月3日(土) 4年の部 2024年8月4日(日)
参加資格	①(公財)日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する選手であり、札幌市スポーツ少年団に登録したチーム及び団員登録を済ませた選手であること。 ②5年の部は5年生以下の選手であること。4年の部は4年生以下の選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ③引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。 ④参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。 ⑤参加選手はスポーツ安全協会傷害保険(第1種A)もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ⑥本大会は、少年サッカー連盟複数チームエントリー規定に則り、同一加盟チームより複数チームエントリーが可能である。また、少年サッカー連盟合同チームエントリー規定に則り、合同チームでの参加が可能である。
競技規則	(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則2023/24」及び「8人制サッカールールと審判法」による。
競技方法	①リーグ戦 参加チームを4～5チームのリーグに分け、総当たり戦を行う。順位決定は、勝ち点(勝:3 引分:1 負け:0)、得失点差、総得点、当該チームの対戦結果、抽選の順とする。 ②組み合わせ 組み合わせは、担当区に一任する。 ③競技のフィールド ピッチサイズは、60～68m×40～50mとする。 ④試合球 公認球4号ボールとする。 ⑤競技者の数および交代 試合は8人(うち1名はゴールキーパー)で行い、16名登録のフリー交替制とする。ゴールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。 ⑥競技者の用具 競技者の用具は、実施年度の(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「SJFAユニフォーム規定」に従うものとする。 ⑦審判員 主審、補助審の2名で運営する。人数がいれば主審、副審(2人)の3人で運営することもできる。 ⑧試合時間 前後半とも10～15分間とし、ハーフタイムのインターバルは2～3分とする。 ⑨その他 暑熱下において、前・後半中ほどに飲水タイムを採用する。
懲罰	①リスペクト・フェアプレー委員会を設ける。委員長は札幌市スポーツ少年団サッカー専門部長が務める。委員については委員長が決定する。 ②大会期間中に警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。 ③大会期間中において退場させられた競技者は次の1試合に出場できず、それ以降の措置については、リスペクト・フェアプレー委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。 ④大会要項に記載されていない事項については、リスペクト・フェアプレー委員会で決定する。
申込場所	札幌地区少年サッカー連盟事務局(札幌市東区北25条東4丁目3-1 札幌市立北園小学校内) 2024年4月16日(火)～2024年5月31日(金)
その他	①札幌地区少年サッカー連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ②メンバー表を持参すること。 ③大会の追加エントリー及び取り消しの締め切りは、5月31日17:00とする。 ④可能な限り、マッチ・ウェルフェアオフィサーを配置する。

道民共済カップ（U-9）サッカー交流大会 開催要項

目的	札幌地区の少年サッカーのレベルアップを図るとともに、大会を通して本連盟登録チームや選手の交流を深める。
主催	（一社）札幌地区サッカー協会
主管	（一社）札幌地区サッカー協会第4種委員会、札幌地区少年サッカー連盟
後援	札幌市、札幌市教育委員会、（一財）札幌市スポーツ協会、札幌市スポーツ少年団 札幌地区少年サッカー連盟後援会
協賛	北海道民共済生活協同組合
運営	札幌地区少年サッカー連盟実行委員会
期日	2024年7月20日（土）21日（日）
参加資格	①（公財）日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する小学3年生以下の選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ②引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。 ③参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。 ④参加選手はスポーツ安全協会傷害保険（第1種A）もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ⑤本大会は、少年サッカー連盟複数チームエントリー規定に則り、同一加盟チームより複数チームエントリーが可能である。また、少年サッカー連盟合同チームエントリー規定に則り、合同チームでの参加が可能である。 ⑥試合経験の少ない4年生の選手を出場させることができる。
競技規則	（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則2023/24」及び「8人制サッカールールと審判法」による。 *オフサイドについては、採用しない。
競技方法	① <b>対戦</b> 参加チーム数に応じてグループに分け、対戦する。 ② <b>組み合わせ</b> 組み合わせは、連盟事務局で行う。 ③ <b>競技のフィールド</b> ピッチサイズは、30m×20m程度とする。マーカーなどを使用してピッチを作成する。ゴールはフットサルゴールを使用する。 ④ <b>試合球</b> 公認球4号ボールとする。 ⑤ <b>競技者の数および交代</b> 試合は5人（うち1名はゴールキーパー）で行い、フリー交替制とする。ゴールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。全選手に十分な出場時間を保障すること。 ⑥ <b>競技者の用具</b> 競技者の用具は、実施年度の（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「SJFAユニフォーム規定」を原則とする。ただし、チームで統一されたシャツ（番号が付いているもの）やピブスでの参加を認める。 ⑦ <b>審判員</b> セルフジャッジとし、困ったときはピッチマネージャー（当該チーム指導者）が助言する。 ⑧ <b>試合時間</b> 試合時間は10分間程度とする。参加チーム数によって変更することもある。 ⑨ <b>コーチング</b> 原則コーチングは行わない。交代などの補助をする。 ⑩ <b>JFAスモールサイドゲーム</b> 趣旨を理解して参加すること。
懲罰	①リスペクト・フェアプレー委員会を設ける。委員長は（一社）札幌地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。 ②大会要項に記載されていない事項については、リスペクト・フェアプレー委員会で決定する。 ③マナーを含め、サッカーを楽しむために必要なことに気付かせるようにする。
その他	①札幌地区少年サッカー連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ②大会参加にあたっては、所定の申込用紙に必要事項を記入すること。 ③大会の追加エントリー及び取り消しの締め切りは、6月30日17:00とする。 ④参加予定選手数を6月30日までに連絡すること。

第43回札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会 開催要項

目的	札幌市の少年サッカーの技術の向上と心身の健全な育成とスポーツ精神の高揚を図る。
主催	札幌市スポーツ少年団
共催	(公財)北海道スポーツ協会北海道スポーツ少年団
主管	札幌市スポーツ少年団サッカー専門部、札幌地区少年サッカー連盟
後援	札幌市、札幌市教育委員会、(一社)札幌地区サッカー協会、札幌地区少年サッカー連盟後援会
運営	札幌市スポーツ少年団サッカー専門部実行委員会
会場	市内小学校グラウンド
期日	2024年7月7日(日)
参加資格	①(公財)日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する選手であり、札幌市スポーツ少年団に登録したチーム及び団員登録を済ませた選手であること。 ②未就学児の参加は認めない。 ③引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。 ④参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。 ⑤参加選手はスポーツ安全協会傷害保険(第1種A)もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ⑥本大会は、少年サッカー連盟複数チームエントリー規定に則り、同一加盟チームより複数チームエントリーが可能である。また、少年サッカー連盟合同チームエントリー規定に則り、合同チームでの参加が可能である。
競技規則	(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則2023/24」及び「8人制サッカールールと審判法」による。
競技方法	①リーグ戦 参加チームを4~5チームのリーグに分け、総当たり戦を行う。順位決定は、勝ち点(勝:3 引分:1 負け:0)、得失点差、総得点、当該チームの対戦結果、抽選の順とする。 ②組み合わせ 組み合わせは、担当区に一任する。 ③競技のフィールド ピッチサイズは、68m×50mとする。 ④試合球 公認球4号ボールとする。 ⑤競技者の数および交代 試合は8人(うち1名はゴールキーパー)で行い、16名登録のフリー交替制とする。ゴールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。 ⑥競技者の用具 競技者の用具は、実施年度の(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「SJFAユニフォーム規定」に従うものとする。 ⑦審判員 主審、補助審の2名で運営する。人数がいれば主審、副審(2人)の3人で運営することもできる。 ⑧試合時間 前後半とも10~15分間とし、ハーフタイムのインターバルは2~3分とする。 ⑨その他 暑熱下において、前・後半中ほどに飲水タイムを採用する。
懲罰	①リスペクト・フェアプレー委員会を設ける。委員長は札幌市スポーツ少年団サッカー専門部長が務める。委員については委員長が決定する。 ②大会期間中に警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。 ③大会期間中において退場させられた競技者は次の1試合に出場できず、それ以降の措置については、リスペクト・フェアプレー委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。 ④大会要項に記載されていない事項については、リスペクト・フェアプレー委員会で決定する。
申込場所	札幌地区少年サッカー連盟事務局(札幌市東区北25条東4丁目3-1 札幌市立北園小学校内) 2024年4月16日(火)~2024年5月31日(金)
その他	①札幌地区少年サッカー連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ②メンバー表を持参すること。 ③大会の追加エントリー及び取り消しの締め切りは、5月31日17:00とする。 ④可能な限り、マッチ・ウェルフェアオフィサーを配置する。

トラック協会杯 第36回全道少年団（U-11）サッカー大会 札幌地区予選 開催要項

目的	札幌地区の少年サッカーのレベルアップを図るとともに、トラック協会杯全道少年団（U-11）サッカー大会札幌地区代表として出場するチームを決定する。
主催	（一社）札幌地区サッカー協会、（一社）札幌地区トラック協会
主管	（一社）札幌地区サッカー協会第4種委員会、札幌地区少年サッカー連盟
後援	札幌市、札幌市教育委員会、（一財）札幌市スポーツ協会、札幌市スポーツ少年団 札幌地区少年サッカー連盟後援会
運営	札幌地区少年サッカー連盟第4エリア
期日	2024年8月10日（土）17日（土）18日（日）
参加資格	①（公財）日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する小学5年生以下の選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ②札幌地区予選から北海道大会に至るまで、同一選手が異なる加盟チームへ移籍後、再び参加することはできない。 ③引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。 ④参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。 ⑤参加選手はスポーツ安全協会傷害保険（第1種A）もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ⑥本大会は、少年サッカー連盟複数チームエントリー規定に則り、同一加盟チームより複数チームエントリーが可能である。また、少年サッカー連盟合同チームエントリー規定に則り、合同チームでの参加が可能である。
競技規則	（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則2023/24」及び「8人制サッカールールと審判法」による。
競技方法	① <b>トーナメント戦</b> 参加チームを6ブロックに分け、トーナメント戦を行う。同点の場合は、PK戦（3名ずつ）により次回進出チームを決定する。準決勝、決勝戦においては、6分の延長戦（3分-3分）を行い、なお決しない時はPK戦（3名ずつ）により決定する。 ② <b>競技のフィールド</b> ピッチサイズは、68m×50mとする。 ③ <b>試合球</b> 公認球4号ボールとする。 ④ <b>競技者の数および交代</b> 試合は8人（うち1名はゴールキーパー）で行い、16名登録のフリー交替制とする。ゴールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。 ⑤ <b>競技者の用具</b> 競技者の用具は、実施年度の（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「SJFAユニフォーム規定」に従うものとする。 ⑥ <b>審判員</b> 主審、補助審判の2名で運営する。 ⑦ <b>試合時間</b> 前後半とも15分間とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。 ⑧ <b>その他</b> 暑熱下において、前・後半中ほどに飲水タイムを採用する。
懲罰	①リスペクト・フェアプレー委員会を設ける。委員長は（一社）札幌地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。 ②大会期間中に警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。 ③大会期間中において退場させられた競技者は次の1試合に出場できず、それ以降の措置については、（一社）札幌地区サッカー協会リスペクト・フェアプレー委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。 ④大会要項に記載されていない事項については、リスペクト・フェアプレー委員会で決定する。
その他	①札幌地区少年サッカー連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ②選手証（電子選手証もしくは印刷したもの）、大会エントリー表、メンバー表を持参すること。 ③各ブロック優勝の札幌地区代表6チームは全道大会（9月16日～18日・札幌）への出場を義務づける。また、次年度の全道（U-12）サッカー少年団大会札幌地区予選のシード権を与える。 ④大会の追加エントリー及び取り消しの締め切りは、抽選日の10日前の17：00とする。 ⑤各トーナメント準決勝・決勝にマッチ・ウェルフェアオフィサーを配置する。その他の試合にも可能な限り配置する。

札幌市サッカー少年団8人制（U-10）大会 開催要項

目的	札幌地区の少年サッカーの技術の向上と心身の健全な育成とスポーツ精神の高揚を図るとともに、全市大会に進出するチームを決定する。
主催	札幌地区少年サッカー連盟
主管	札幌地区少年サッカー連盟 各エリア
後援	札幌市、札幌市教育委員会、（一財）札幌市スポーツ協会、札幌市スポーツ少年団 （一社）札幌地区サッカー協会、札幌地区少年サッカー連盟後援会
運営	札幌地区少年サッカー連盟各エリア実行委員会
期日	2024年8月31日（土）～9月29日（日） ※会場等の関係により、日程以外にも開催することがある。
参加資格	①（公財）日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する小学校4年生以下の選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ②予選から決勝に至るまで、同一選手が異なる加盟チームへ移籍後、再び参加することはできない。 ③引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。 ④参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。 ⑤参加選手はスポーツ安全協会傷害保険（第1種A）もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ⑥本大会は、少年サッカー連盟合同チームエントリー規定に則り、合同チームでの参加が可能である。
競技規則	（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則2023/24」及び「8人制サッカールールと審判法」による。
競技方法	①大会方法 参加チーム数、会場数、日程、代表チーム数を考慮して方法を決定する。総当たり戦、トーナメント戦、両方を組み合わせたもの等、実態に合わせて計画する。 ②総当たり戦及びトーナメント戦の方法 総当たり戦を採用した場合の順位決定は、勝ち点（勝:3 引分:1 負け:0）、得失点差、総得点、当該チームの対戦結果、抽選の順とする。 トーナメント戦を採用した場合、同点の時は、PK戦（3名ずつ）により次回進出チームを決定する。代表が決定する試合においては、6分の延長戦（3分-3分）を行い、なお決しない時はPK戦（3名ずつ）により決定する。 ③競技のフィールド ピッチサイズは、60～68m×40mとする。 ④試合球 公認球4号ボールとする。 ⑤競技者の数および交代 試合は8人（うち1名はゴールキーパー）で行い、16名登録のフリー交替制とする。ゴールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。 ⑥競技者の用具 競技者の用具は、実施年度の（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「SJFAユニフォーム規定」に従うものとする。 ⑦審判員 主審、補助審判の2名で運営する。人数がいれば主審、副審（2人）の3人で運営することもできる。 ⑧試合時間 前後半とも12～15分間とし、ハーフタイムのインターバルは3分とする。 ⑨その他 暑熱下において、前・後半中ほどに飲水タイムを採用する。
懲罰	①リスペクト・フェアプレー委員会を設ける。委員長は（一社）札幌地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。 ②大会期間中に警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。 ③大会期間中において退場させられた競技者は次の1試合に出場できず、それ以降の措置については、（一社）札幌地区サッカー協会リスペクト・フェアプレー委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。 ④大会要項に記載されていない事項については、リスペクト・フェアプレー委員会で決定する。
その他	①札幌地区少年サッカー連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ②メンバー表を持参すること。 ③各区の代表チームは、全市大会への出場を義務付ける。 ④大会の追加エントリー及び取り消しの締め切りは、各エリア抽選日の10日前の17:00とする。 ⑤可能な限り、マッチ・ウェルフェアオフィサーを配置する。

JFA第48回全日本U-12サッカー選手権大会 札幌地区プレーオフ 開催要項

目的	札幌地区の少年サッカーの技術の向上と心身の健全な育成とスポーツ精神の高揚を図るとともに 全日本U-12サッカー選手権大会札幌ブロック予選に進出するチームを決定する。
主催	(一社) 札幌地区サッカー協会
主管	(一社) 札幌地区サッカー協会第4種委員会、札幌地区少年サッカー連盟
後援	札幌市、札幌市教育委員会、(一財) 札幌市スポーツ協会、札幌市スポーツ少年団 札幌地区少年サッカー連盟後援会
運営	札幌地区少年サッカー連盟 リーグ戦委員会
期日	2024年9月1日(日)・7日(土)・8日(日)
参加資格	<p>①(公財)日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。</p> <p>②札幌地区プレーオフから北海道大会に至るまで、同一選手が異なる加盟チームへ移籍後、再び参加することはできない。</p> <p>③U-12サッカーリーグin北海道 札幌地区リーグ2024に出場した選手であること。</p> <p>④U-12サッカーリーグin北海道 札幌地区リーグ2024に出場したチーム。</p> <p>⑤選手が所属できるチームは、大会エントリー時点で上記リーグ戦に登録されたチームに限る。</p> <p>⑥登録選手について、札幌地区プレーオフと札幌ブロック大会は同一大会とみなす。プレーオフで敗退した「加盟チーム」内の選手をブロック大会で補充することが4名まで。</p> <p>⑦引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。</p> <p>⑧公認指導者2名以上、複数指導者のベンチ入りを義務付ける。</p> <p>⑨参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。</p> <p>⑩参加選手はスポーツ安全協会傷害保険(第1種A)もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。</p> <p>⑪U-12サッカーリーグin北海道 札幌地区リーグ2023Aブロック上位4チームは、札幌ブロック大会に出場することができる。</p>
競技規則	(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則2023/24」及び「8人制サッカールールと審判法」による。
競技方法	<p>①トーナメント戦 参加チームを12ブロックに分け、トーナメント戦を行う。同点の場合は、PK戦(3名ずつ)により次回進出チームを決定する。</p> <p>②シード U-12サッカーリーグin北海道 札幌地区リーグの1部の14チームにシード権を与え、残りの参加チームでフリー抽選を行う。</p> <p>③競技のフィールド ピッチサイズは、68m×50mとする。</p> <p>④試合球 公認球4号ボールとする。</p> <p>⑤競技者の数および交代 試合は8人(うち1名はゴールキーパー)で行い、16名登録のフリー交替制とする。ゴールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。</p> <p>⑥競技者の用具 競技者の用具は、実施年度の(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「SJFAユニフォーム規定」に従うものとする。</p> <p>⑦審判員 主審、副審(2名)、第4審判の4名で運営する。</p> <p>⑧試合時間 前後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。</p>
懲罰	<p>①リスペクト・フェアプレー委員会を設ける。委員長は(一社)札幌地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。</p> <p>②大会期間中に警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。</p> <p>③大会期間中において退場させられた競技者は次の1試合に出場できず、それ以降の措置については、(一社)札幌地区サッカー協会リスペクト・フェアプレー委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。</p> <p>④U-12サッカーリーグin北海道 札幌地区リーグは懲罰規定上の同一競技会とみなし、退場による未消化の出場停止処分は、本大会において順次消化する。</p> <p>⑤大会要項に記載されていない事項については、リスペクト・フェアプレー委員会で決定する。</p>
その他	<p>①札幌地区少年サッカー連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。</p> <p>②選手証(電子選手証もしくは印刷(一覧可)したもの)、大会エントリー表、メンバー表を持参すること。</p> <p>③札幌地区プレーオフを勝ち上がった12チームは、札幌ブロック大会(9/23)への出場を義務づける。</p> <p>④札幌ブロック大会以降は公認指導者2名以上、複数名のベンチ入りを義務付ける。</p> <p>⑤各試合にマッチ・ウェルフェアオフィサーを配置する。</p>



第7回川口谷正杯 U-12秋季少年サッカー大会 開催要項

目的	札幌地区の少年サッカーの技術の向上と心身の健全な育成とスポーツ精神の高揚を図るとともに、リーグ戦で培った力を試す場とする。
主催	札幌地区少年サッカー連盟
主管	札幌地区少年サッカー連盟 第2エリア
後援	札幌市、札幌市教育委員会、(一財)札幌市スポーツ協会、札幌市スポーツ少年団 (一社)札幌地区サッカー協会、札幌地区少年サッカー連盟後援会
運営	札幌地区少年サッカー連盟第2エリア 大会実行委員会
期日	2024年9月1日(日)・7日(土)・8日(日)・23日(月祝)
参加資格	①(公財)日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ②JFA第48回全日本U-12サッカー選手権大会 札幌ブロック予選、札幌地区プレーオフに出場していないチーム及び選手。 ③U-12サッカーリーグin北海道 札幌地区リーグに参加したチーム及び選手。 ④選手が所属できるチームは、上記リーグ戦に登録されたチームに限る。 ⑤登録選手が16名に満たない場合は、プレーオフに出場していないチームに所属する「加盟チーム」内の選手から補充することができる。 ⑥引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。 ⑦参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。 ⑧参加選手はスポーツ安全協会傷害保険(第1種A)もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。
競技規則	(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則2023/24」及び「8人制サッカールールと審判法」による。
競技方法	① <b>トーナメント戦</b> 参加チームを5ブロック程度に分け、トーナメント戦を行う。同点の場合は、PK戦(3名ずつ)により次回進出チームを決定する。決勝戦においては、10分の延長戦(5分-5分)を行い、なお決しない時はPK戦(3名ずつ)により決定する。 ② <b>シード</b> U-12サッカーリーグin北海道 札幌地区リーグのブロックや結果により上位チームより順にシードする。 ③ <b>競技のフィールド</b> ピッチサイズは、68m×50mとする。 ④ <b>試合球</b> 公認球4号ボールとする。 ⑤ <b>競技者の数および交代</b> 試合は8人(うち1名はゴールキーパー)で行い、16名登録のフリー交替制とする。ゴールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。 ⑥ <b>競技者の用具</b> 競技者の用具は、実施年度の(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「SJFAユニフォーム規定」に従うものとする。 ⑦ <b>審判員</b> 主審、補助審判の2名で運営する。 ⑧ <b>試合時間</b> 前後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。
懲罰	①リスペクト・フェアプレー委員会を設ける。委員長は(一社)札幌地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。 ②大会期間中に警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。 ③大会期間中において退場させられた競技者は次の1試合に出場できず、それ以降の措置については、(一社)札幌地区サッカー協会リスペクト・フェアプレー委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。 ④U-12サッカーリーグin北海道 札幌地区リーグは懲罰規定上の同一競技会とみなし、退場による未消化の出場停止処分は、本大会において順次消化する。 ④大会要項に記載されていない事項については、リスペクト・フェアプレー委員会で決定する。
その他	①札幌地区少年サッカー連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ②メンバー表を持参すること。 ③可能な限り、マッチ・ウェルフェアオフィサーを配置する。

第56回会長杯 兼 札幌中島LC supportship 第11回 Savanna Cup Sapporo 開催要項

目的	札幌地区の少年サッカーの技術の向上と心身の健全な育成とスポーツ精神の高揚を図る。
主催	(一社) 札幌地区サッカー協会
共催	(株) Savanna
主管	(一社) 札幌地区サッカー協会第4種委員会、札幌地区少年サッカー連盟
後援	札幌市、札幌市教育委員会、(一財) 札幌市スポーツ協会、札幌市スポーツ少年団 札幌地区少年サッカー連盟後援会
協賛	札幌中島ライオンズクラブ
運営	札幌地区少年サッカー連盟第1エリア第3エリア 大会実行委員会
期日	2024年10月6日(日)・12日(土)・14日(月祝)
参加資格	①(公財) 日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ②本大会において同一選手が異なる加盟チームへ移籍後、再び参加することはできない。 ③引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。 ④参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。 ⑤参加選手はスポーツ安全協会傷害保険(第1種A)もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ⑦本大会は、少年サッカー連盟複数チームエントリー規定に則り、同一加盟チームより複数チームエントリーが可能である。また、少年サッカー連盟合同チームエントリー規定に則り、合同チームでの参加が可能である。
競技規則	(公財) 日本サッカー協会「サッカー競技規則2023/24」及び「8人制サッカールールと審判法」による。
競技方法	① <b>トーナメント戦</b> 参加チームの希望レベルに合わせた複数のブロックに分け、トーナメント戦を行う。同点の場合は、PK戦(3名ずつ)により次回進出チームを決定する。決勝戦においては、10分の延長戦(5分-5分)を行い、なお決しない時はPK戦(3名ずつ)により決定する。 ② <b>シード</b> 本大会はノーシードとする。 ③ <b>競技のフィールド</b> ピッチサイズは、68m×50mとする。 ④ <b>試合球</b> 公認球4号ボールとする。 ⑤ <b>競技者の数および交代</b> 試合は8人(うち1名はゴールキーパー)で行い、16名登録のフリー交替制とする。ゴールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。 ⑥ <b>競技者の用具</b> 競技者の用具は、実施年度の(公財) 日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「SJFAユニフォーム規定」に従うものとする。 ⑦ <b>審判員</b> 主審、補助審判の2名で運営する。 ⑧ <b>試合時間</b> 前後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。
懲罰	①リスペクト・フェアプレー委員会を設ける。委員長は(一社) 札幌地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。 ②大会期間中に警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。 ③大会期間中において退場させられた競技者は次の1試合に出場できず、それ以降の措置については、(一社) 札幌地区サッカー協会リスペクト・フェアプレー委員会において決定する。 ④大会要項に記載されていない事項については、リスペクト・フェアプレー委員会で決定する。
その他	①札幌地区少年サッカー連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ②メンバー表を持参すること。 ③大会の追加エントリー締め切りは、抽選日の10日前の17:00とする。 ④全日本U-12サッカー選手権大会全道大会進出チームは、抽選後の取り消しを認める。対戦相手は次の試合へ進出することとする。 ⑤それぞれのトーナメント上位チームを表彰する。 ⑥可能な限り、マッチ・ウェルフェアオフィサーを配置する。

## 2024年度全道少年(U-12) 8人制サッカー大会

### 兼第21回JA全農杯全国小学生選抜サッカーIN北海道 札幌地区予選 開催要項

目的	札幌地区の少年サッカーのレベルアップを図るとともに、JA全農杯全国小学生選抜サッカーIN北海道に札幌地区代表として出場するチームを決定する。
主催	(一社) 札幌地区サッカー協会
主管	(一社) 札幌地区サッカー協会第4種委員会、札幌地区少年サッカー連盟
後援	札幌市、札幌市教育委員会、(一財) 札幌市スポーツ協会、札幌市スポーツ少年団 札幌地区少年サッカー連盟後援会
運営	札幌地区少年サッカー連盟 第2エリア 大会実行委員会
期日	2024年10月13日(日)・19日(土)・20日(日)
参加資格	①(公財) 日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する小学5年生以下の選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ②16名以上20名以内で構成されていること。 ③引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。 ④参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。 ⑤参加選手はスポーツ安全協会傷害保険(第1種A)もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ⑥本大会は、少年サッカー連盟複数チームエントリー規定に則り、同一加盟チームより複数チームエントリーが可能である。 ⑦U-11サッカー交流大会に出場していない選手及びチーム。
競技規則	(公財) 日本サッカー協会「サッカー競技規則2023/24」及び「8人制サッカールールと審判法」による。
競技方法	① <b>トーナメント戦</b> 参加チームを2ブロックに分け、トーナメント戦を行う。同点の場合は、PK戦(3名ずつ)により次回進出チームを決定する。準決勝、決勝戦においては、6分の延長戦(3分-3分)を行い、なお決しない時はPK戦(3名ずつ)により決定する。 ② <b>競技のフィールド</b> ピッチサイズは、68m×50mとする。 ③ <b>試合球</b> 公認球4号ボールとする。 ④ <b>競技者の数および交代</b> 試合は8人(うち1名はゴールキーパー)で行い、20名登録のフリー交替制とする。ゴールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。 原則、選手全員が1ピリオドを通じて出場する。第1ピリオド、第2ピリオドのそれぞれ8人と、その他交代要員を予め明確にする。 同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとする。第1ピリオドと第2ピリオドはゴールキーパーも含め選手を総入れ替える。第3ピリオドは交代自由とする。(事故、けが等で出場困難な状況が発生し、出場可能選手が1名以下になった時に限り、3つのピリオドに出場することを認める。延長戦については、前後半で同一の選手の出場を可とする。 (第1ピリオド) 予め決められた選手が出場する。けが等で出場が困難になった場合に限り2P出場予定の選手が出場できる。 (第2ピリオド) 予め決められた選手が出場する。交代要員として1Pに出場した選手も出場できる。けが等で出場が困難になった場合に限り1Pに出場した選手が出場できる。 (第3ピリオド) 第1、第2両ピリオドに出場した選手を除き、誰でも出場できる。 (延長戦) 誰でも出場できる。 ⑤ <b>競技者の用具</b> 競技者の用具は、実施年度の(公財) 日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「SJFAユニフォーム規定」に従うものとする。 ⑥ <b>審判員</b> 主審、補助審判の2名で運営する。 ⑦ <b>試合時間</b> 12分間の3ピリオド制とし、第2ピリオドと第3ピリオドの間のインターバルは5分とする。延長戦に入る場合のインターバルは、5分とする。 ⑧ <b>その他</b> 第3ピリオドのサイドはコイントスで決定し、約半分が経過したタイミングでサイドをチェンジする。タイミングは主審に委ねる。再開方法はキックオフとする。
懲罰	①リスペクト・フェアプレー委員会を設ける。委員長は(一社) 札幌地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。 ②大会期間中に警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。 ③大会期間中において退場させられた競技者は次の1試合に出場できず、それ以降の措置については、(一社) 札幌地区サッカー協会リスペクト・フェアプレー委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。 ④大会要項に記載されていない事項については、リスペクト・フェアプレー委員会で決定する。
その他	①札幌地区少年サッカー連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ②選手証(電子選手証もしくは印刷したもの)、大会エントリー表、メンバー表を持参すること。 ③札幌地区代表2チームは第21回JA全農杯全国小学生選抜サッカーIN北海道(2024年4月)への出場を義務づける。3級以上の審判員を必ず帯同すること。 また、準優勝チームとともに次年度の全道(U-12)サッカー少年団大会札幌地区予選のシード権を与える。 ④大会の追加エントリー及び取り消しの締め切りは、抽選日の10日前の17:00とする。 ⑤全国大会の選手の上限は18名であり、旅費の一部を主催者が負担する予定である。 ⑥準決勝・決勝にマッチ・ウェルフェアオフィサーを配置する。その他の試合にも可能な限り、配置する。

## U-11サッカー交流大会 開催要項

目的	札幌地区の少年サッカーの技術の向上と心身の健全な育成とスポーツ精神の高揚を図るとともに、練習で培った力を試す場とする。
主催	札幌地区少年サッカー連盟
主管	札幌地区少年サッカー連盟 第4エリア
後援	札幌市、札幌市教育委員会、（一財）札幌市スポーツ協会、札幌市スポーツ少年団 （一社）札幌地区サッカー協会、札幌地区少年サッカー連盟後援会
運営	札幌地区少年サッカー連盟第4エリア 大会実行委員会
期日	2024年10月13日（日）・19日（土）・20日（日）
参加資格	①（公財）日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ②全農杯札幌地区予選に出場していないチーム及び選手。 ③引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。 ④参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。 ⑤参加選手はスポーツ安全協会傷害保険（第1種A）もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ⑥本大会は、少年サッカー連盟複数チームエントリー規定に則り、同一加盟チームより複数チームエントリーが可能である。また、少年サッカー連盟合同チームエントリー規定に則り、合同チームでの参加が可能である。
競技規則	（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則2023/24」及び「8人制サッカールールと審判法」による。
競技方法	① <b>トーナメント戦</b> 参加チームを5ブロック程度に分け、トーナメント戦を行う。同点の場合は、PK戦（3名ずつ）により次回進出チームを決定する。決勝戦においては、10分の延長戦（5分—5分）を行い、なお決しない時はPK戦（3名ずつ）により決定する。 ② <b>シード</b> 本大会はノーシードとする。 ③ <b>競技のフィールド</b> ピッチサイズは、68m×50mとする。 ④ <b>試合球</b> 公認球4号ボールとする。 ⑤ <b>競技者の数および交代</b> 試合は8人（うち1名はゴールキーパー）で行い、16名登録のフリー交替制とする。ゴールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。 ⑥ <b>競技者の用具</b> 競技者の用具は、実施年度の（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「SJFAユニフォーム規定」に従うものとする。 ⑦ <b>審判員</b> 主審、補助審判の2名で運営する。 ⑧ <b>試合時間</b> 前後半とも15分間とし、ハーフタイムのインターバルは3分とする。
懲罰	①リスペクト・フェアプレー委員会を設ける。委員長は（一社）札幌地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。 ②大会期間中に警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。 ③大会期間中において退場させられた競技者は次の1試合に出場できず、それ以降の措置については、（一社）札幌地区サッカー協会リスペクト・フェアプレー委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。 ④U-12サッカーリーグin北海道 札幌地区リーグは懲罰規定上の同一競技会とみなし、退場による未消化の出場停止処分は、本大会において順次消化する。 ④大会要項に記載されていない事項については、リスペクト・フェアプレー委員会で決定する。
その他	①札幌地区少年サッカー連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ②メンバー表を持参すること。 ③可能な限り、マッチ・ウェルフェアオフィサーを配置する。

札幌地区U-12、U-11フットサル大会 開催要項

目的	札幌地区の少年サッカーやフットサルのレベル向上を目指し、健全な心身の育成を図る。
主催	札幌地区少年サッカー連盟
主管	札幌地区少年サッカー連盟 札幌地区フットサル委員会
後援	札幌市、札幌市教育委員会、（一財）札幌市スポーツ協会、札幌市スポーツ少年団 （一社）札幌地区サッカー協会、札幌地区少年サッカー連盟後援会
運営	札幌地区少年サッカー連盟 大会実行委員会
期日	U-12 U-11
参加資格	①（公財）日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ②U-12は全道フットサル、U-11は全日本フットサルの札幌地区予選に参加しないチーム。 ③引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。 ④参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。 ⑤参加選手はスポーツ安全協会傷害保険（第1種A）もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ⑥本大会は、少年サッカー連盟複数チームエントリー規定に則り、同一加盟チームより複数チームエントリーが可能である。また、少年サッカー連盟合同チームエントリー規定に則り、合同チームでの参加が可能である。
競技規則	（公財）日本サッカー協会「フットサル競技規則2023/24」による。
競技方法	① <b>方法</b> 参加チーム数、会場数、日程を考慮して方法を決定する。総当たり戦、トーナメント戦、両方を組み合わせたもの等、実態に合わせて計画する。 総当たり戦を採用した場合の順位決定は、勝ち点（勝:3 引分:1 負け:0）、当該チーム内の対戦成績、当該チーム内の得失点差、当該チーム内の総得点、グループ内の得失点差、グループ内の総得点、抽選の順とする。 トーナメント戦を採用した場合、同点の時は、PK戦（5名ずつ）により次回進出チームを決定する。優勝が決定する試合においては、6分の延長戦（3分-3分）を行い、なお決しない時はPK戦（5名ずつ）により決定する。 ② <b>競技のフィールド</b> ピッチサイズは、32m×16mを基本とする。 ③ <b>試合球</b> フットサル公認球3号ボールとする。 ④ <b>競技者の数および交代</b> 競技者の数は5名、交代要員の数は、11名とする。 ⑤ <b>競技者の用具</b> 競技者の用具は、実施年度の（公財）日本サッカー協会「フットサル競技規則」及び「SJFAユニフォーム規定」に従うものとする。 ⑥ <b>審判員</b> 主審、第2審判、副審（第3審判）3名で運営する。 ⑦ <b>試合時間</b> 会場や参加数決定後に設定する。 ※上記を基本とし、後日改めて提案する。
懲罰	①リスペクト・フェアプレー委員会を設ける。委員長は（一社）札幌地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。 ②大会期間中に警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。 ③大会期間中において退場させられた競技者は次の1試合に出場できず、それ以降の措置については、リスペクト・フェアプレー委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。 ④大会要項に記載されていない事項については、リスペクト・フェアプレー委員会で決定する。
その他	①札幌地区少年サッカー連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ②メンバー表を持参すること。 ③大会の追加エントリー及び取り消しの締め切りは、抽選日の10日前の17:00とする。

2024 年度 年間予定

2024/4/15

4月		5月		6月	
1	月	1	水	1	土 U10山崎七郎杯
2	火	2	木	2	日 リーグ戦④
3	水	3	金 JA全農杯全国大会	3	月
4	木 リーグ戦参加費納入締切	4	土 JA全農杯全国大会	4	火
5	金	5	日 リーグ戦② JA全農杯全国大会	5	水
6	土	6	月 リーグ戦②	6	木
7	日	7	火	7	金
8	月 入学式・始業式（札幌）	8	水	8	土 U10山崎七郎杯 全日本フット全道（札幌）
9	火	9	木	9	日 リーグ戦④ 全日本フット全道（札幌）
10	水	10	金	10	月
11	木	11	土 リーグ戦③	11	火
12	金	12	日 リーグ戦③	12	水
13	土 JA全農杯全道（苫小牧）	13	月	13	木
14	日 JA全農杯全道（苫小牧）	14	火	14	金
15	月 総会	15	水	15	土 U10山崎七郎杯 U-12トレセンキャンプ
16	火	16	木 第1回指導者会議	16	日 U10山崎七郎杯 U-12トレセンキャンプ
17	水	17	金	17	月
18	木	18	土 リーグ戦③	18	火
19	金	19	日 リーグ戦④	19	水
20	土 総合開会式	20	月	20	木
21	日 リーグ戦①	21	火	21	金
22	月	22	水	22	土 U10山崎七郎杯
23	火	23	木	23	日 U12全道予選
24	水 各種費用振込締切 申請書類送付締切（必着）	24	金	24	月
25	木	25	土 U10山崎七郎杯	25	火
26	金	26	日 TM札幌Fデー	26	水
27	土 リーグ戦①	27	月	27	木
28	日 リーグ戦①	28	火	28	金
29	月 リーグ戦①	29	水	29	土 U12全道予選
30	火	30	木	30	日 U12全道予選
		31	金		

2024 年度 年間予定

2024/4/15

7月		8月		9月			
1	月	1	木	U-11トレセン交流大会	1	日	プレーオフ・川口谷杯 札幌U-10
2	火	2	金	U-11トレセン交流大会	2	月	
3	水	3	土	スポ少交流大会5年 熊谷高瀬杯(旭川)	3	火	
4	木	4	日	スポ少交流大会4年 熊谷高瀬杯(旭川)	4	水	
5	金	5	月		5	木	
6	土	6	火	リーグ戦⑤	6	金	
7	日	7	水	スポ少交流大会6年	7	土	プレーオフ・川口谷杯 札幌U-10
8	月	8	木		8	日	プレーオフ・川口谷杯 札幌U-10
9	火	9	金		9	月	
10	水	10	土	トラック協会杯札幌予選	10	火	
11	木	11	日	第2回指導者会議	11	水	リーグ戦⑥
12	金	12	月		12	木	
13	土	13	火	リーグ戦⑤ 岩内U10道大会	13	金	
14	日	14	水	TM札幌Fデー 岩内U10道大会	14	土	トラック協会杯(札幌) ガールズエイト
15	月	15	木	岩内U10道大会	15	日	トラック協会杯(札幌) ガールズエイト
16	火	16	金	全日本フット全国	16	月	札幌U-10 トラック協会杯(札幌)
17	水	17	土	トラック協会杯札幌予選 全日本フット全国	17	火	
18	木	18	日	トラック協会杯札幌予選 全日本フット全国	18	水	
19	金	19	月		19	木	第4回指導者会議
20	土	20	火	道民共済カップ	20	金	
21	日	21	水	道民共済カップ キッズフェスタ	21	土	リーグ戦⑦
22	月	22	木	第3回指導者会議	22	日	札幌U-10
23	火	23	金	U12トレセン交流	23	月	全日本U-12札幌ブロック 川口谷杯
24	水	24	土	リーグ戦⑥ U12トレセン交流	24	火	
25	木	25	日	終業式(札幌) TM札幌Fデー U12トレセン交流	25	水	
26	金	26	月	始業式(札幌)	26	木	
27	土	27	火	U12全道(苫小牧)	27	金	
28	日	28	水	U12全道(苫小牧)	28	土	リーグ戦⑦
29	月	29	木	U12全道(苫小牧)	29	日	札幌U-10
30	火	30	金		30	月	
31	水	31	土	リーグ戦⑥ 札幌U-10(区予選)			

2024 年度 年間予定

2024/4/15

10月		11月		12月	
1	火	1	金	1	日 札幌地区U12フットサル 全道フットサル札幌予選 (U12)
2	水	2	土	2	月
3	木	3	日	3	火
4	金	4	月	4	水
5	土	5	火	5	木
6	日	6	水	6	金
7	月	7	木	7	土
8	火	8	金	8	日
9	水	9	土	9	月
10	木	10	日	10	火
11	金	11	月	11	水
12	土	12	火	12	木
13	日	13	水	13	金
14	月	14	木	14	土
15	火	15	金	15	日
16	水	16	土	16	月
17	木	17	日	17	火
18	金	18	月	18	水
19	土	19	火	19	木
20	日	20	水	20	金
21	月	21	木	21	土
22	火	22	金	22	日
23	水	23	土	23	月
24	木	24	日	24	火
25	金	25	月	25	水
26	土	26	火	26	木
27	日	27	水	27	金
28	月	28	木	28	土
29	火	29	金	29	日
30	水	30	土	30	月
31	木			31	火



2024 年度 年間予定

2024/4/15

1月		2月		3月			
1	水	1	土	全日本フットサル札幌予選 (U-11) U12フューチャーU11トレセン	1	土	新年度登録・リーグ戦運営会議
2	木	2	日	札幌地区U11フットサル U12フューチャーU11トレセン	2	日	
3	金	3	月		3	月	
4	土	4	火		4	火	
5	日	5	水	全日本フットサル札幌予選 (U-11)	5	水	
6	月	6	木		6	木	第6回指導者会議
7	火	7	金		7	金	
8	水	8	土	札幌地区U11フットサル 全日本フットサル札幌予選 (U-11)	8	土	
9	木	9	日	札幌地区U11フットサル	9	日	
10	金	10	月		10	月	
11	土	11	火	全日本フットサル札幌予選 (U-11) トレセンU12エリートキャンプ	11	火	
12	日	12	水	全日本フットサル札幌予選 (U-11) トレセンU12エリートキャンプ	12	水	
13	月	13	木	全日本フットサル札幌予選 (U-11) トレセンU12エリートキャンプ	13	木	
14	火	14	金		14	金	
15	水	15	土	始業式 (札幌)	15	土	全道フットサル全道 (十勝)
16	木	16	日		16	日	全道フットサル全道 (十勝)
17	金	17	月		17	月	
18	土	18	火	札幌地区U11フットサル 全日本フットサル札幌予選 (U-11)	18	火	
19	日	19	水	札幌地区U11フットサル	19	水	
20	月	20	木		20	木	
21	火	21	金		21	金	卒業式 (札幌)
22	水	22	土		22	土	全日本フットサル札幌ブロック (U11)
23	木	23	日		23	日	TM札幌Fデー 全日本フットサル札幌ブロック (U11)
24	金	24	月		24	月	
25	土	25	火	札幌地区U11フットサル 全日本フットサル札幌予選 (U-11)	25	火	修了式 (札幌)
26	日	26	水	TM札幌Fデー	26	水	
27	月	27	木		27	木	
28	火	28	金		28	金	
29	水				29	土	
30	木				30	日	
31	金			U12フューチャーU11トレセン	31	月	